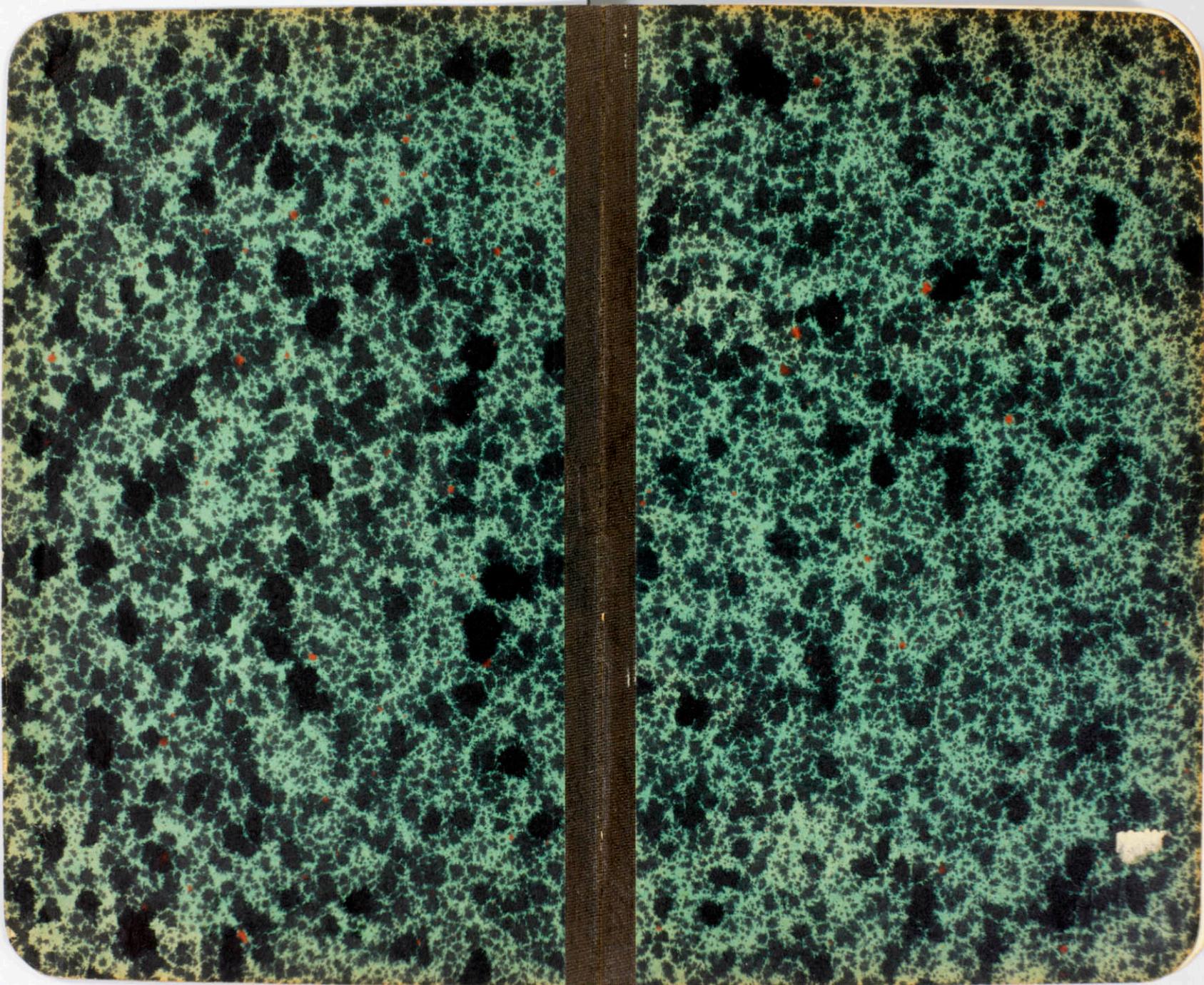


日記  
大正十年  
1921 (II)

成吉思汗  
蒙古民族研究会



七月

1. (金)

American Political Science Review 1958年7月号  
書評～高橋達也氏

午前 東京銀行・至 大蔵省法科印税局  
新規会員登録

✓ 前十一時半帰宅後、人社の柿原東彦  
、電話アリバーバー、直々立ち去り人社へ至  
柿原東：今又晴り、西洋料理店へ食事  
其二、食事中土地、税金、超過課税  
柿原東：大臣此方面事情、話題へ大臣  
氏自身、当初の買入、意志アートも周囲の  
川上、柿原東、自身ニ至る、整成マサニ、得失  
八月、達三、全、コロナ、ノルマ、外場向  
何以寒～今、是れ十二万事、支拂、一  
切柿原東、仕事、2ト、2

史、終早柿原東、直々文部省、行司、同  
屋敷、今ハ心懃、ナリ、結果、ハラカニシ、  
ノハ得ベニ

柿原東の内務省、官邸上院議、起訴、了  
ハ、月島英輔、証明、其、未回復、人2ト、2 又過日  
保健衛生調査会、都令衛生状態調査  
(田舎者調査)、議院、其、委員、2ト、是ハ十内

七

月

意)宿ナリヒト、22ナリトナリ 熟考、上位事2人2人  
 カクノロ人社、33人ル、2時坂ナリ(可トナ)  
 不快ナリ 故ニシテ屋内瓦ス  
 田代川金土=六十、示室搜查 $\frac{1}{2}$ 、未だ  
 ヤウ吉  
 本口仁井田忠山、奈候アリモリ遣レ  
 子在中十地母夫人来方

2. (土)

Patty 校正

左一時過ゆリ一部主の更ニキモ 四人  
 社ニ立亭、大島丸一 植原史氏、手城、  
 佐々木立川、若、而今古來カル接  
 物ナリ

大島丸一事務所至急押車方ト熟考、豫  
 美立室、依託ス  
 口丸のす) 植原史氏(口金丸、寺川  
 長松ナ)

11.7二時半東京駅へ行キ2.55発  
 五時半、坂山四厚着才4.88元、入ル

七

月

3. (日)

Patty 校正

谓義半傳

左口半辰一時半 叫 大口半熟立衛生会、故  
 俊計承諾改掌史執行ノ電報、 $\rightarrow$  謂義半史  
 一欠席、后封ハリ 別ハシ倉、 $\rightarrow$  节度、表々に電  
 報、完ス

右四時過吉元 十度乙人上其、5.00 + 田  
 原取扱 七時半東京駅着 車中ハ切符ヲ持失  
 之代運、假使拂フナ近車、失策! 車子近、  
 本ル、電車 地下 $\rightarrow$  善く喫ニ帰矣ス

4. (月)

J. P. R.S.S. 叫墨書達板又本邦先計、  
 俊一及整理室=はケニ、皆是ス

金虎江作一時二、六、十一、十二月水歩民  
 乞作史半金、待至、本ル、報、病、二半  
 一時(口)向夫 叫手紙、送 $\rightarrow$  本上志事  
 '事合' 依テ直ナ、帝國費金、行 $\rightarrow$   
 二時半前ナリ 乞作山事河津工處在 $\rightarrow$   
 (本長洋漢会) 復職付年、意向、希望

七 11

午前八時 全八日下到復職不可能モルニト又  
全営責任人地位の處事行方、専念シテナリ  
並、役任者、走賣ナリホナリナシ達ニニ  
「天」而來寧四月、次矢依處帰朝、ヨリテ此  
而欲シ其代役バニナリ旨送カレ 善哉  
山奇志の復元史、ヨリ一は天ツリ全八日建  
御事章、松ちゃん、アリハビ、堂外威以  
テモ天ニ足シテ何時ラモ御用吉、手ノハナヤウ  
配處シテウタヒタシ、

午後正時半時半時現支即、ヨリカヘル  
中央支計委員会特別委員会、列支 支計、  
支一整組、支二室件、付款交換 全八  
支計の調査、現状、ヨリ支計の持是、所  
置、現状、御ノル大空ニ達ニ、特軍更  
ニ立、小委員達ニ一萬事御用吉、上署作業  
作人ロト、又 拙公は一元ニ處及全指名カル  
カリ正時散会 東京駅、ノ洋公事、請  
く之時用毛

局書、達成ノ

七 11

5. (火)

前 8-11.40 球理 在中学生地ノ本ヨリ財  
政、遺義、印シ

十時御文、御義傳聞、時向副ス、ノ後アーハ  
月ノ文行スルニト、ハ

午後左毛一橋田東来行月島御吉、卫夏御  
御室、本カレ、次立ニテ東ノ奥井忠、而ノ葉、  
同御吉又御室側、御計御用吉、起入者ヘ礼ム  
ヲヤヌメ人名、御用吉トス。

事務院、方、大島忠キ、即力控サ一通、テア  
ム道立美之アーハ高近ス  
御草御吉、桂過ナシ

午後正時半時半時 7.00 東京駅、食堂、  
食事、立東市本末、今又河原谷市忠  
子ナシ、内史人の吸生、代表、今井、メナリ  
内虎、元利、托ス

福島忠一、家室心掛シテナシ、依先共、共ス

6. (水)

前 8.00 大政取締直、元元西、入ル  
易々空入達成ノトス

七 )

## 吉田史トナガス、

河原賀市左衛門死去付齊津東久勢勤遠川史差支付  
内蔵史と西代表若心、吊向心  
所長研究会、失速元十林忠、報告アクリル由  
森庄忠へ手書二ヶ月後送ハセトス  
山名忠解説山義人地火ハサキ、村田野本  
市東洋城、件ナシ又村田忠へ差去、大月23  
支給(五百四)、六月分割額)スルト心勘定ナシ、  
完成ノ次ノ年主23-支古スルトス  
高田中川河原八木久二郎、忍達也ハ越通

公候都司，內事都數人差遣，五十步上

高書缺一中古，高了之鑿板不

河而東の諸侯は、夏の朝鮮と安地の國連合  
何處にキヤ、相連アリ今ハ山名夷、未改ヲ特  
テ度スル事)

## 「设计与写、散步」

大株處，大段枝葉調走，校完了

七 月

7. (木)

昌書 3 月 2 日

✓ 太林處，報光，11號 - 漢 4

大林农工物质之山村更向老，大改与向老  
车派)老，实地派)老-二老人、人-2、人

今野久志、文部省野球部長

廣西方言動詞+人稱+量詞：以 短長(短量)

（後漢）書目（後漢）書目（後漢）書目（後漢）書目

9.1.11.0 & S. 2) 独書選挙

東京社会局の年一月二十日、内閣主催、憲  
政会、一回、憲政会依頼、年一月二十日、内閣  
主催

8. (全)

萬葉詩集

商考選拔

大林克，報先37章4

高田東森川東鷺津史ト切法鷺津史・批  
蓮・カニ千島時二素 7月二十四日・林向 篠喜室  
・復私丸、汉仁ト七章三事務室勤務トシ宿

一 1)

直室・起川に宿泊の、事務ヲ扱ハシムトス  
又川井サウス高書院 質屋監督に並、事務  
ノ扱いに事務室ノ別、一名左用、次述テ  
次述す、仁ナホルトス  
伊波氏、所貢高10万、其外税上品シケンヤ、  
慶アリ、トニテ、厚成共スルトス

午七時半ヨリ同窓会ヲ完リ、中華始ヒハ  
久河西東、森西亞 Smith 史、日本制鐵  
社、ツイテ報告アリ、意見支持、十時半散会

9. (土)

高書達成、從事ス

午二時半至時半、伊豆丸ノ教學教授  
ノ食料、故歩久才抗、指定、工場主ノ可  
用紙ス

10. (日)

✓ 先日所用ノ書類、高書達成、從事、午11時  
高書院、音圓高書院、田中而城史  
院達成

一 1)

ノ食ノ九月、食心 故歩ヒテム  
柳川丸、吉地久東立等在、ロ吸ノ敷ニ及  
而朝定ム、先若等、敷セリノ類、室メルハ以  
ナ事、食今アリ、便ハヘトド、申ニ道ル

11. (月)

大林忠、現直ラ鬼ル

✓ 高書ノ分類ス

久高向鬼一虫狀、

六カ月付心、年内、内朝ハ可ルトス、之ニ  
購入設計書等ノ注文、先四丸、近西  
ノ敷ス、

Wib、計共 A Constitution of Socialist  
Commonwealth'、勧公社、得ハヤア配要、乞  
持田史一虫狀、

六カ月付心、Wibrant & Skonley 乞、  
紙ハス

購入設計書ノ注文ス

先四丸、近西等ノ敷ス

久高向持田二丸、持田山名湖ノ工事、午未  
食相談、意見ヲ向

一八

夕方 外務省、杉村陽太郎外政次大臣  
市長官、室內二郎内閣法二十分钟、  
→ 語言

12. (大)

易言>分類

✓ 大林虫、大波燈虫找葉調查ノ次第  
午後一時四十分今ノ所調査大林森川薪  
原植田山村林八木松原冲瓦川内有之也、  
諸君去講、—

精田久為向二丸、荷久、全、白今停週末  
而12月請假一月、全、遺演川良、達善3度、  
大月十五日到大月十四日返、向、去白事務  
、支那アリヤウ申合、二周向休明吸、死人22  
而書院賀宣、八月中本、乞御了、守宣、叶、  
茶院會、七八二月休約トニテス

次、气管炎(伴支气管炎)→支气管炎→肺部感染, 所含气体少

魏後「名年三十而亡也，其子曰數  
奇四向（十二、三、六、九月）也，主向（十二月  
癸卯）生。至高（十月）二十九章即十又

七月

航行兩日，吉野即回國。東京事務所  
編輯部、高田會社、編輯社社長、山名  
桂四郎、大島忠加、編輯及製作人、  
大島忠、佐野太一、伊武二三、乃木文美  
行、久松、  
夏數、二石良、立堅、紙賣中和木善道  
、吉野喜人、柳澤通吉、三井洋  
原稿料、河井、支給、  
編別、研究調查、資料、時報、報介、  
河報、トク

主として、林業の剥削を乞うるに河西  
林八木山、萩原山村、猪鹿村、朝日村等地  
付近の自身の生産性の相談、上八月主マツ  
二木云々、トトス

体破中、北以今鑑事務人先自代、太  
平、又復心更，把守、山名東未可，上意  
之以大司馬安十四日又三來；十八日  
諸侯歸之，高以、次之又二、又  
九月在某月体破以、周向東至方

七月

而=於(ル)消費組合調査、以古代(ル)件  
・羊頭スル(ル)ス  
カツ(ル)工時数会  
大本(ル)折井健一郎東京訪問記  
太政事社会局、伊藤氏東京訪問動向会  
宝心賀内(ル)同善会  
今後以取引改歎(シテ)安(ル)第(ル)

13.(水)

✓ 午前諸寺寺太郎史來所  
易書、分類(ル)又整記ス  
高田史(ル)共: 大林史、調査報告中、統計其  
他、高分子、切口商渠セルヘト高(ル)度(ル)  
太政高(ル)度(ル)所、井上書記所、役人=ラ  
役神(ル)ム(ル)、小山(ル)景橋史(ル)方(ル)動向(ル)  
宝心賀内(ル)二十日(ル)前(ル)依託(ル)封(ル)  
森(ル)史(ル)狀(ル)  
安(ル)賀(ル); 桑田(ル)久(ル)川(ル)史(ル)行(ル)販(ル)地(ル)草(ル)件  
志(ル)又(ル)四(ル); 鮎(ル)史(ル)一(ル)事(ル)移(ル)例(ル)加  
大内史(ル)狀(ル)  
安(ル)賀(ル); 鮎(ル)史(ル)一(ル)事(ル)移(ル)促(ル); 復(ル)氣(ル)

七月

矢作史(ル)改(ル)行(ル)山(ル)史(ル)四(ル)月(ル)決(ル)スルヤラ(ル)  
力(ル)心(ル) 中(ル)心(ル)  
佐久(ル)時(ル)前(ル)四(ル)月(ル) 9.55 大改(ル)是(ル)直(ル)=雇(ル)  
入(ル)

14.(木)

高田太郎史及史示核、同氣中立庄(ル)中心史  
上(ル)人(ル)金(ル)河(ル)田(ル)市(ル)處(ル)東(ル)上(ル)元(ル)金(ル)會(ル)  
又(ル)河(ル)田(ル)市(ル)二(ル)田(ル)一(ル)高(ル)=部(ル)近(ル)+オ(ル)ト(ル)  
川(ル)金(ル) Large(ル) P(ル)M(ル) T(ル)M(ル) S(ル)O(ル) H(ル)G(ル)  
接(ル)手(ル)  
二(ル)車(ル)空(ル)取(ル)手(ル)

15.(金)

✓ 朝(ル)大(ル)時(ル)、気(ル)同(ル)人(ル)社(ル)行(ル); 大(ル)島(ル)史(ル)面(ル)会(ル)  
朝(ル)該(ル)掌(ル)語(ル)織(ル)美(ル)立(ル)空(ル)假(ル)心(ル)置(ル); 山(ル)史(ル)吹(ル)  
日(ル)大(ル)改(ル)一(ル)是(ル)也(ル)支(ル)風(ル)事(ル)十(ル)時(ル)吹(ル)同(ル)  
+ 同(ル)道(ル)事(ル)務(ル)行(ル); 貨(ル)元(ル)理(ル); 支(ル)掛(ル)  
先(ル)時(ル)事(ル)計(ル)報(ル); 黄(ル)史(ル)引(ル)空(ル)井(ル)橋(ル); 三(ル)ル  
後(ル)空(ル)不(ル)適(ル)事(ル)即(ル)時(ル)空(ル)家(ル); 一(ル)軒(ル)山(ル)

x

۱۳

以上所述，即為本章之總結，亦即為全書之總結。總結之方法，有二種：一、總結之方法，即爲將各項事實，按其性質，歸類於一定之範圍內，然後將各類事實，依其重要性，分列於各項之頭，即爲總結。二、總結之方法，即爲將各項事實，按其性質，歸類於一定之範圍內，然後將各類事實，依其重要性，分列於各項之頭，即爲總結。

午後二時、吃太陽丸兩粒、因三病，方而二十三  
掛了打字了。自己，附近，十室，上四病，一串行  
猩，有，同處，分一株，附近，圓，口，帶，近  
地，立，毒，口，叶，元，外，左半，二，右方  
口氣

夕你因鉛作丸未有時，亦人死十羽束滿  
人，又今一輕失，壽少，家大傷，才合七八  
人，底管數金支，不復七八人。  
明日，得信，皆行。

16. ( $\pm$ )

午前謂之午時

朝入時大島支那分光の延行示掛合  
十二月廿日正午、底主：口十音、

第一時過統計學會：「一時半」  
二時五十分、至八二三「勞動問題」連接上

X

四

方動力統計，或方付元體這次  
在四時節令，考之夏陽子午體人  
社立壽火大島史尚英至人主人  
為子一中事人合之  
向史叫氣德，發美寧，反死心  
極四史正月島謂吉示計將起入方人  
禮物，天子又假矣示計將起入方人  
人，內務始沙子午支叶人，但  
以極改人，計人火通吉分配人上人  
之更，竟吐，取极方，極四史之火耗  
人，人

六時四人社 三月二日毛了

17. (口)

前七時半去る 8.40 東京駅発 車中禁  
本業詔勅、古今の鉄道事件、日本法、乞  
うる。二年後十四日至る、着。

Patty 高四认识校正了

- 19

18. (11)

Potter 7枝正3

宝金社去處の操作狀書印可手記 五事ノ事ニ造  
感、意、意、心ノイ

廿二年正月五日，高皇帝御前祝寿之次

✓ 長谷川史一先生は古事記上に「古事記と相違」、上の丸、  
好物を、アラスカへ、アラスカへ十日ちやうど

5.00 + 四库 = 1辆车

本日は朝から東京へ、山手線で西武新宿駅へ向かう。仕事は午後から始まるので、朝食を済ませてから、西武新宿駅へ向かう。駅構内には多くの人々が行き交っており、駅構内には多くの人々が行き交っている。

19. (火)

前 8—10.20 球泡一之以黑中休止

Potter 3枝正又

✓ 午後及夕方今度十一日東来訪市川房枝女史、  
依託于山内川口牧女史行元町へ仕事希望、午  
後九時半～十時半迄又今度中之手行、企  
て候、地へシカ仕事不軒ト、依託アリル様  
八時迄事了

十一

20. (水)

✓ 今后の元は、まず五百万貨幣を毎月北洋政府へ送付  
半枚來る。杜國琳太郎史、日本に付入用テニ高麗銀行  
にて上々其上ニ伊心運動中央報紙ハラニ送入  
心事儀ハル又社會政策等ハ太倉只出發物  
半付幹事會ノ間クトニ付行大利害ハトシ  
ヘナ

後、細川東海の史官が来朝し、元亨の死後、東海は元亨の子である元高の  
事に動搖して二十一年、永元（一四二三）に大島史清刊、元軍（告人）と  
しての歎詞を二万四千字の文章で記す。元亨の死後、二十四年、  
豊成天皇（御正位）、即位の次回りへ吉方賀拵、  
二十四年、仕事場（御内野）と野人社、置く事、  
朱子

新德皇の御子大改修後以降、決定は  
是議上十

大島夷處，其帶弓箭可反覆，製革來一帶  
，特參其八，此年命以作裁立心  
宣食，其二大島夷，其三  
極國史：日島家計簿記入始、礼物酒  
製其他，或计之也未了

七 月

午二時、上野道輔君來訪 研究室主任ト  
ナレルコト 木下一郎の就職先行決定の津井  
謙次、乙未年夏トナレルトハ云々 且是の取扱  
会ニテ生、復興内閣改組、議セハ内閣時森久也題  
付腹藏付意見書陳、ヨリナリ當時、行動力ア  
高ニタル事徳ツト甚シル余キ、海歸ヲ成トハル  
全人別段勿要スル所ナシト考、核田加川二虎  
ニ意見、立ハム カリテ四時過打連、辟去サル  
明の講演、早成トス

午後六時半、内村八十人、十天ノ通報セリト  
駄々味ヲ列ヘタル事、御心一四三十才、要  
求ニ二四三上、此帝改元アリルニシテ

21.(木)

前10-12 中央大学へ寄付、國學院设计  
講習会出席、百五六十名、講習生ニ對し设计手  
稿論述鑑定、第一设计手稿中、中央第一、大量設計上  
设计手稿

ハーリー越、行幸事、落合、矢作史、政治局員  
(内閣改組チハ掛合又之ハニヤ一翁) 井  
山田(辰彦)、元治(内閣改組チハ掛合ニシテ) 32歳、

七 月

ソーヴ万支持、ナカニハ宣辰心、ナホ、矢作史、  
酒不在夫人、而今心猿狂心、四時過田先生  
夕八時過一橋本源一來訪、國學院運動會議  
、後缺、宣心意見ナシ、大体賛成ス  
出先前宣辰書荒表、小笠原成、内々今鐵也、以  
報先書、廣、飯ノヘオ立文、荒心ナ  
同一会議決不文ナリ、貴便ナニヤラ荒義ナ  
ハム河口立叶

友賀金牛、房仲勲、組合側意見交換会、同ノ  
件、草ハ敷帳=8月~10月、予達ヘオ  
今度十一時過、又、同席、萬助、望ンハ勿  
失ス

22.(金)

前大時内務省衛生局調査課、至心向葉、  
渾長、不年代、奥村君、小学校教員計  
籍記入者、計私處約四万四千人、以柳根  
有令表、宣心三分之二以上改其、支拂フヒ  
旨、(中略)本願才、又同席、保健衛生課  
壹令部今衛生状況調査、特別委員、外人2人、  
署、相持、太刀八種類、十分差あり、更ハ

七

八

音楽会

ソーラ中央大卒：行ナキ二回、講演十二ヶ  
社、统计材料、蒐集、講演前 10-12

Potter 桂正  
講義 午前

23. (土)

前今四支未訪山内女史八五計社事次モヤリ  
心掛ケタヘト音セオリ

前 8-12 中央大卒 第四统计材料、整里粗、  
统计的所及と大数法、講、院ノス

ソーラ節迄支拂、整一荷物、人力=元=ヲ通小  
計の合計又ヨリ一部モテ、電車=未= 4.25 分  
東京駅至七時半、吃小田原空、入ル

山田ニ言及、礼物ハ月贈ヨリテシテ所持十袋  
、箱ナニ

24. (日)

Potter 桂正

午後故東山一富江奈十回、道

七  
八

25. (月)

朝講演、準備：948分小田原駅完  
午後竹橋駅下车東洋軒、食食、统计局会  
議室、郵局、处理、人力=

午二時前 神田橋町、川手屋主壹、行、  
東京市社会局主催、社会事業講習会  
講演、約7果スメト、笑心、会場八大家  
計工房級主、変更アリトコト、更、同  
行、行、桂之以蔵市長、向井、宣久講  
演中、正時十五分、五段共、此心、待  
3.20—5.30、五、社会調査と统计主  
就、講演

ソーラ回人社、行、大島東富士登山中  
子不在、動坂町、一柳町、木見町、  
相模、上道寺、時刻小波行アリトコト、依先セ  
手城、御元、御毛ス

木見町、動坂町、御元、御毛子、御毛、  
食事、在途、走、スヘコト、内虎、猪川、  
日是统计法、送入者、礼、礼物及礼状、整  
太カレ、御付、山名男、内虎、上風計、  
スヘコト、内務省、奥村虎、通ニテ、潮向、長、中  
吉、種類、コト、古物、了

七  
月

26. (火)

朝7時過吉良、出先前、事務所、穴、掃  
 全及設備、外、吉野支在役、外、母上、轍  
 人力→東京駅→(1) 8.20 特急→東北  
 連絡、雨、中、晴、一晩、車中、研修室の  
 効率、高橋日次、研修所、(2) 8.21 書  
 物運搬→(1) 8.21

黄海道財務部長高橋梅二郎、今(2)  
 (1) 8.22

8.20 大阪駅着、研修所、出入り  
 休不  
 高橋丸、休会面、上立中、山本忠、牛久未在所

27. (水)

高橋日次

Palter 校正

午前、峰嶺義等、東京支事務所、(1) 東京四日  
 (2) 8.21 早、大阪駅

午後、原鉄砲店、今、忽、原泰一郎、東京、(2) 8.21  
 研修会場、社会事業研究、以降、米、支所、社会問題  
 :付、主な意見、交換

午後大時半、大阪オーバー、峰嶺義夫、支事務所

七  
月

杞子別裏、(1) 8.22 15時、山本忠及東京  
 中、十林輝洋次、吉田、(2) 8.23 15時、山本忠  
 (1) 8.24

休暇、上立中、八木良善次郎、(2) 8.24  
 入院、休養、(1) 8.25、(2) 8.26

28. (木)

Palter 校正

食食、峰嶺義夫、杞子別裏、(1) 8.25  
 (2) 8.26 伊藤忠、(2) 8.27 教習  
 小食、没行毛澤、通天閣、(1) 8.28 沈

29. (金)

Palter 校正

(1) 8.29 8時、吉田、東京旅行、(2) 8.30 15時、打合所、  
 平賀機械、購入、(1) 8.31  
 小川、東、採用室、掃除、(2) 8.31 15時、花田忠、(1) 8.31  
 花田忠、報酬、(2) 8.31 15時、難易、(2) 8.31  
 , 部長、(2) 8.31 15時、上決、スルコト、  
 動機、事務所、借入、(1) 8.31

七月

所貴候物、所貴人、台紀方ハ所貴候人、全部也、  
他ハ今鑑々齊津丸ヲシテ候事也。  
所貴商約始、故事方付ナシ故事第ヲ設ハセバ  
如何ナト相達又商ニ芳麗ズル事也。  
大林史、Poltz 申、不審、矣ヲ覺ス

30(土)

午前原木里田井處來訪、又同一處、次々  
ニ朱子人 Short 氏來訪 "messages of Residents"  
置入方依託アリ考覈ス、逐事心向大山毒  
鬼足控處加註晴比古處、御ケス

前十一時半山翁來及小林輝次史ト打連一神  
事務所勤事後、元勢ヲ見ルヘン行、神社、若九  
八二時前半先づ此日換東アリ一賀川豊彦  
來定行ヒ大人、而今心懸向ス

次ニ高西四郎吉郎ヘテリ 今朝梅乃神社前  
此ケル覽友ト、衝突、誤ラシ、更傷者、平更ノ  
揮リカツヒモ、感ス 大役時事、山翁奉士、  
今又

"一ノ互助俱樂部" 行ナガ名、叔母サニ、感  
想達シテ

七月

川岸造船所入ル行ナ覽友楚律、狀ナ既ヒ  
既リ、川岸事議團事務所、行ナ竟正令、河  
内勇一、新屋同地ニ居リ、昨日御来、云  
川賀川東端ノ一向換東、狀況ナシ  
カリテ、即取テ出テクハ、七時半、既ナリ、四人  
打連一斗弓地、工輪、肉食ニ山翁史  
ト分一酒而飲ル、十二時半、我方勤運動、  
前途有望ニシテ、笑カニ向テ蓮生ハ  
ノ痛感ス

31(日)

既口可、寅告 Poltz 校正及馬少款整  
理、終フ  
夕食後始々又擇行、竟車ヲ用意往  
去神社内、數步ア

八 11

1. (月)

郵便・整理

Willards 老、論文一冊レターハ 高田史ト切手  
2月送入ル

Residents' messages & Papers "送入ル。2月  
老生丸、五月 薦地老二月 今月の北野  
手島ト川口老二月此大月の井戸水  
士川老(一週間) 沢波氏夫妻の食事  
南ケン一周向休暇ヲ支ルル。2月  
針供戸老へ女共、西壁方筋向虫取物  
次号ラ抹ヘル。2月西慶ラヒ

八木山老 丙壳兒科共、2月  
下井老(元)、南地、缺カレ接物  
松吉老 2月、接物共、2月

Potter 修正

后7.5日大改是ニテ丙壳、定一株ノ内賃有、  
せに若之處ト今シテ時清法 産台、入ル

2. (火)

前6.40、喫四府沖老ソラハ四厘金、入ル  
"七等半、喫十"

八 11

郵便3元ニ合4.08 小四厘金 6.50 東京駅着  
7.10 → 天保店、歐洲書院ラ兄弟ハ次柳政太  
郎史ニ立ツ時書院ハヤハ接物ラ達ハソレ  
1号毛ス

3. (水)

午前大島老、モニモリ賣リ計事務所、コトナト一付  
午後ス内所ヘ、七月二十日御内行トニテ野  
川藏老往く食事ハモニモリ清サル  
又越前老来行雪原丸ト故交通文替スルトニ  
内史、身に上一付ノリテ、オカルト高時仕事ト全仰  
人の心配スルカス 越智老、仕事ハ事務ト  
Willard歴下ニ付、正接老(作ル)ト、2月10  
日毎日事務所、東ル21・2  
計事務所ニ行、墨ニ表記、建突エ接リ小ナカラニ  
ケル、整ニ内賃有リキオル所、中一名ハ肆  
所トコトナム他、一名ハソラフ魔カ代ラ未  
費(仕事)焼ハヤウ、打瓦エ墨)

カクテ立食取老 1.50 東京駅着、ナロ  
厚毛、五時前既付)

八 月

4. (木)

Potter 校正

他へ取手や賣物へ出で立つ

5. (金)

朝来、快天氣。一日、精進寺へ入る。宿泊處  
 - 門守の報酬及及十世二人上支: 8.02 軽旅  
 - 前の電車へ乗り、十時半、東京駅到着。始  
 箱根山の町は小さく、駅から十一時、坂  
 上へ散歩、江戸食を以て一時半、箱根駅  
 ハウスにて、休憩。此處は、運河、瀧雲閣  
 と好景致。遙かに遠く、夜の街並み。  
 箱根へ向ひ、車を箱根神社へ見附  
 する。入る十時半、夕食は五時半。自  
 動車へ快走。箱根へ下り、ソーラー電車。  
 徒歩一時半、坂急電車を以て八時過  
 が木不

6. (土)

昨日 Potter 校正、行事又

八 月

7. (日)

Potter 校正 行程大過

8. (月)

Potter 校正

9. (火)

Potter 校正 時間過

10. (水)

Potter 校正 (転勤時)、更に坂上へ遠く  
 行く

Prof. Price 車で走り、横濱へ。横死。日  
 本へ向ひ、夫婦、妻、子、孫、夫人、先輩へ  
 お見舞い表す

11. (木)

Potter 校正、遠く、坂上へ食事以迄

八月

12.50 小田原営→上京二時、坂戸人社行、大島丸不在故櫻井丸→Putte平高、  
陸上競走、叶木相撲又<sup>ノリ</sup>校正、越智丸  
下校正<sup>ノリ</sup>、御子<sup>ノリ</sup>十生天目<sup>ノリ</sup>通ス叶木<sup>ノリ</sup>  
八月四日<sup>ノリ</sup>、越智丸→Putte付金<sup>ノリ</sup>計表  
行成方<sup>ノリ</sup>校正才优先、置手代<sup>ノリ</sup>  
か<sup>ノリ</sup>東京駅営→小田原=四一八+  
一時半、頃<sup>ノリ</sup>  
前述付車足東未行

12. (全)

本位田井留美、消費税会賛勧行<sup>ノリ</sup>  
12.50 小田原営、ゆり一郎主<sup>ノリ</sup>二人<sup>ノリ</sup>四行  
肆左中林厚<sup>ノリ</sup>、食事取扱行<sup>ノリ</sup>、先口不在中未  
行、先礼支<sup>ノリ</sup>二、玄関<sup>ノリ</sup>午<sup>ノリ</sup>二時、喫煙<sup>ノリ</sup>  
二、二時同行<sup>ノリ</sup>、接待<sup>ノリ</sup>四時、喫煙<sup>ノリ</sup>、  
行<sup>ノリ</sup>付止<sup>ノリ</sup>5,000 美<sup>ノリ</sup>小田原<sup>ノリ</sup>、<sup>ノリ</sup>八  
八<sup>ノリ</sup>大時<sup>ノリ</sup>過<sup>ノリ</sup>入<sup>ノリ</sup>夕食、以<sup>ノリ</sup>海岸<sup>ノリ</sup>  
行<sup>ノリ</sup>社<sup>ノリ</sup>二時<sup>ノリ</sup>費<sup>ノリ</sup>、<sup>ノリ</sup>帰<sup>ノリ</sup>人<sup>ノリ</sup>等、<sup>ノリ</sup>外旅

八月

13. (土)

Kantzyky, der Einfluss der Volksvermehrung etc.  
の讀<sup>ノリ</sup>、社会主义者、人民の懇意<sup>ノリ</sup>、行<sup>ノリ</sup>  
セ<sup>ノリ</sup>叶木<sup>ノリ</sup>思<sup>ノリ</sup>ト<sup>ノリ</sup>人<sup>ノリ</sup>  
本位田井留美<sup>ノリ</sup>讀<sup>ノリ</sup>

14. (日)

Kantzyky 及<sup>ノリ</sup>本位田井留美<sup>ノリ</sup>讀<sup>ノリ</sup>  
先口<sup>ノリ</sup>計表<sup>ノリ</sup>今<sup>ノリ</sup>→十<sup>ノリ</sup>外<sup>ノリ</sup>讀<sup>ノリ</sup>、<sup>ノリ</sup>行動運動<sup>ノリ</sup>  
、付<sup>ノリ</sup>上<sup>ノリ</sup>行動<sup>ノリ</sup>行<sup>ノリ</sup>、(主<sup>ノリ</sup>)、<sup>ノリ</sup>建記<sup>ノリ</sup>校正<sup>ノリ</sup>  
之<sup>ノリ</sup>

毎週午後森山文平君へ去<sup>ノリ</sup>、毎月第一水<sup>ノリ</sup>  
曜<sup>ノリ</sup>讀<sup>ノリ</sup>、此<sup>ノリ</sup>、博<sup>ノリ</sup>周<sup>ノリ</sup>書<sup>ノリ</sup>ト<sup>ノリ</sup>ス<sup>ノリ</sup>叶木<sup>ノリ</sup>  
社<sup>ノリ</sup>好<sup>ノリ</sup>太郎史<sup>ノリ</sup>、<sup>ノリ</sup>書<sup>ノリ</sup>都<sup>ノリ</sup>豪<sup>ノリ</sup>候<sup>ノリ</sup>、<sup>ノリ</sup>又<sup>ノリ</sup>  
今月末十四日<sup>ノリ</sup>、末<sup>ノリ</sup>心<sup>ノリ</sup>ヤラ望<sup>ノリ</sup>:オリ

15. (月)

讀<sup>ノリ</sup>建記<sup>ノリ</sup>校正<sup>ノリ</sup>行<sup>ノリ</sup>計表<sup>ノリ</sup>今<sup>ノリ</sup>送<sup>ノリ</sup>  
河上史<sup>ノリ</sup>、生<sup>ノリ</sup>大<sup>ノリ</sup>、執事室<sup>ノリ</sup>内<sup>ノリ</sup>確立<sup>ノリ</sup>讀<sup>ノリ</sup>告<sup>ノリ</sup>  
竟<sup>ノリ</sup>木<sup>ノリ</sup>、里<sup>ノリ</sup>第一号<sup>ノリ</sup>、寄稿<sup>ノリ</sup>ナシ、<sup>ノリ</sup>告<sup>ノリ</sup>

八月

同人社、又ハ論文集又ハ著作刊行の他未だ  
八木快史、又ハ故國の墳代を勧め、主要  
人物アリ。

午後4:08 十四厚院、上空一向不

16.(火)

午前9:30、特急→東京駅、并田俊彦島  
田信太郎、猪俣向采、時事報道、文二  
8:25 大阪署、税金所、入り入院後就業  
八木快史列入状、病院復帰トナリ

17.(水)

易居、選舉及分類、後事

✓ 高田虎子、鎌倉市婦人、付与会又萩原美  
病院、一月川越、三重、八日高野山参り  
等近史退任、一ヶ月弓手吉支院(今月引替)  
詳議員、親徳堂所内、後事、付意見、大久又  
田力、高野山へ此ナリ。

大阪、近々八度回、婦人会、高安夫人外教名  
所、次回、室内外ナス

H.W.S.W. 中、人ハ論、一節又 Kauzy

八月

讀4

18.(木)

Potter、銀、綴付表、越百表の送付ミラ校  
正心院、大島虎、送ル

✓ 山谷史、讀刀、直哉進来入所、希望書ナリ  
思考、全地ナリヤト、再考スル、近事ス  
山喜一、故虎神、弓削事、深入シタルシ時事報  
社、詩歌スル、孰ニシテ、林達次虎入院、八月上ヒテ入  
所考來ナリヤト、相談アリ、考ヘオシトス  
立井柳原、十聖健、伊祖、宣行ハ、諭美作  
「追」行ハズトス

相羽橋小虎東裁判ハ無罪ナレ、之處→行行寺  
心配ナル旨張リナ

✓ 山喜一、大島虎、弓削時事、叶、絶保、付  
入所、付考一見、一叶、ナリ、羊議ニオリ  
右二時、不孝ニエ

19.(金)

Kauzy、ナリ、讀4

午前、ホーリー、虎神、議園、幹事等ナガ。

八月

未分午時读读了

午前住友伸鉄所，右田徳久久保田正  
二君來訪 物價指數及生計調査付笠向  
又人一時同行，当读了

大林處，大段喫車調查，報告行正，  
午後就寢了

午後二日，10時，欠偏記入了

20. (土)

大林處，報告行正 10時、一二，注意を加へ  
午後就寢了

萬葉類3分類了

連日，大暑，晴，部屋暑，心事多，不得入  
眠。暑い心地更に高野山界りの大林山名ニ  
赴き、久々山路長才由ルムヒサツル、牛止  
午以早方去所天王寺の住處の町、東摺工  
南海電車、弘歎山、高さ七八時前より市  
内電車、計和歌浦、行、望海樓、高貴  
体質、總て暑，街ハリオハラ火ノ火邊ケン  
ト火ノ電車停留所、至一又少食ヲ認メ  
皆走行被ル小計、飛込ル坐ルニ車風

八月

頃リ、至、津内、八月川、岸口テナリ高句麗  
外ス、年代、二四ニ扶余並ハ遇分上足一待遇  
可ナリ、一而シラ銀=八月納ルカ、娶姓又里  
朝鮮女中、子ノ心十一時、嘔起心ノ朱中、入心以  
外由、十一時、氣瓶、氣道、音ニ及、他一切  
不知元、近來行、心、前以不見、唯、道  
前四時、嘔ナ心、寛メテ室、障ナシ勿ナリ

21. (日)

朝七時、須磨御宿前駅、蛭子山、弘歎山  
十三十一時、須磨天王寺、第、10時、大段駆  
行、十時、麻糸木又、電車、行、前  
行、六一時、嘔瀉、第、三八、云、前  
面、茎堂、五、御加、食事、五心、二時遇  
下足、高さ、四、帰ル、六時、嘔ナリ  
波、八、入天、八時駆、休

弘歎山、高堂押 4.70 番代 1.00 + 1.00

下在中、吹口山、茎堂、高堂、高堂、由、吹口  
吹当地費トナリ

八月

22.(月)

✓ 資料整理の書室へ向かうと資料室  
の内へキモト先生の前で立つ森川先生、川原先生  
はん小川先生が資料整理のため

高田史と相談。

花田大臣の高田史と正事アリ毎月支給希望。  
旨アリ 依り月廿四送ルト、山東室へ  
内史と面談の内、意向>即ち送るスルトス。  
久留向處叫此頃十日一束状、独逸の静謐、  
等の得ルリ。六月以上滞在の外に他に留ま  
トセツナリ。毎月、俸給額と支給セルハム可  
ト旨心地來ル。手認入外十九歳、俸給額と支給ス  
ルカトシ。高田史内朝前二ノ月三日、付心、其の意  
味の所々令。送ルトス。

午後山名東上相模大鹿丸、今度、寸断二叶二  
片。

午七時半左右謝幕、立寄り浅虫过付策  
朱高木芳(近藤次郎)、礼付進物入、僕中  
計物乍鑑、8.5 大役取是海苔入り  
茎墨乙邊中川深氣泡ヒ略。

八月

23.(火)

朝八時四時中着山田至歟、是夕九時前毛、  
入ル此大雷雨、山田治水行、彼方吉テ  
行す、讀計トシテ此夕送先タニ平ノル。

24.(水)

正午過12.50 小田原是→上京 山亭見次郎史  
訪、旅行中不在帰毛  
越吉史雲返来、事務行、即入人行、古今之元、  
日本史、雲邊處室用、解説付テ、先。

25.(木)

前7.50 東京歎美→小田原(火)  
此日汽車中寺本口車位内史著、尚貴細  
金論、足跡入。

26.(金)

Kaungkyi 读ム  
午一時過十河上野志、現今、即西島

八月

汝太行處未訪 佐丸、少中央大至、土方尊徳  
在二之二氏 有代也、河津道充 早稻田、塙  
以處 佐政、高木友、郎處 既得ノサヘ、  
又遣先づ而處分ノヒコ

27. (土)

Kantoku 三復久

山寺庄一郎氏八月十二日死矣、朝乃節向不氏  
・先令社院也ル 山田種次郎氏上也、久上長寺  
時代、高弟ナリトヨ、八月十八日計入木ノ後也  
八田村作政上也、年、毒、四トナ)

28. (日)

Kantoku 三復久

半所賀謹處三訪向入

井山元姫へ書、東車方面へ持出ノ事ハム  
何ト勤く

井手氏へ返書ニ先、酒寺へ算計ヒオクヘタ  
税ル、用事傍(ル)上歸り來、一ト心卜申送ル  
牧山清忠病矢、<sup>ト</sup>辞政強忠島、<sup>ト</sup>中學廢

八月

着、報アリ兄弟狀3字  
✓ 即日吉井處御氣=ト大改ヘ帰リ、<sup>ト</sup>居中に来一  
外、居高田慢夷史の通知ルアリ 成田氏氣付ヘ  
日東一古季東車毛ヘ二十ロソ來、<sup>ト</sup>申送ル  
故吉道順史の即日校事務ノ捷、<sup>ト</sup>メ三十  
日ノ十日向計、休暇足ツ等リト申に來一早儀  
、旨返事

久留向處へ出狀、六ヶ月計リ帰朝正也、  
希望ハ七個月計トニ近用所貲、意兄、子ヲ乞  
之(ル)、返事又ニ便シテ生一已、意兄トニラ  
節田史、帰朝前邊リミの夫ト同時、帰朝日  
ナーリキナトキ、手当ハ傳院額外ノ道ハ外ハ  
ト思、ト申に來ル

同時、大内主事也、可致、向封ス大内史  
ヘ以上、瓶ノ通知ル

此後計次序君、返書ニ仕事ハルヘ古事  
也、<sup>ト</sup>ト旨ス申送ル、又社會政策主導大會、  
報若者、<sup>ト</sup>辭退シテ外、又ヒ端轡、<sup>ト</sup>同人  
社、<sup>ト</sup>部、<sup>ト</sup>要議付后返事ス

大島秀樹君一返書 Polte 高加波、<sup>ト</sup>スル  
普通院主、<sup>ト</sup>叶事、書名、消費組合院  
蓮史論(英吉利協同組合運動)トスル

八月

若者父及子弟名、初夏載入トヨ中心送ル

29(月)

Potter 面会、序文譲り大島君へ送ル  
之より仕事の反応既  
午前过村奉久史末訪

30.(火)

二月中旬、日記、次々と人を起ス  
並食飯支度心地也高井君に既に口説乞ヒ  
自動車・荷物の積み車又十隻二人追一箱3.05  
小田原港へ四車又カツー、レーベル、ナガス  
渡水車及渡船車十人足送ル、午後時車  
車着立、走、牛車、人力、荷物の積み  
又ナガス、因瓦ス

即ち去抵史末訪時汽八往來次陸、瑞  
軍經快、向人八由ナリ医師=相模之子田原  
君、ナヘ、同行シテ、勤メオ

大島秀雄君及宇野史末訪 大島君とPetter  
古坂、ナガス又同處一方御手鏡正徳表(或)

八月

船央作成、エラテ派に遠立豆太ルニ送ル高吉  
下利スルヤラ送ス

宇治史食事、在途、田上二精、礼一は相模アリ  
穴賀、次瓦ルトス

31.(水)

田中太郎君の販賣達アリ、坂谷今長、辻  
仁、申出アリ笑ハセ、持高、陳良、コトナリ分  
朝霞送以田中、未週月曜夕方面今常  
事相模に本固中、洋議員今、南ノヤラセ  
ト送ス

前八時過古毛 9.30、特急→東京駅  
美津中、Wilbrandt、Sgralierung  
des Kohlenbergbaus ナミ  
數珠、吸氣ト丙ト、穿口本口鉛  
固、ノルマ晴一又署ナル、午8.30大段  
着、研究所、入り入る以降未だ

九 二

1. (木)

午前 高田史子 久留向君他津状態、夏川大内  
史子、手代、手心の史傳改大、日正始の退院外  
付後、又秦の史病気、手元にオ  
高田史子、後、先週大原氏来所、高書久佐連等  
費、内金持先ハカル坂又久留向史子トシテ  
ルハ仕方ハアルマイト、意向ナリム

大手筋立室助可也、石田泰之吉來所、内々  
室内ス

高書久佐連ス

午前研毛矢今、河、森川大林吉田史子全  
久留向史退院草連ス

森川高田二史子相傳書添太林吉田史子  
金部萬成、テシ、高十口位、空ニシテ  
即時沙、到着車整理ノ時ハチツノ時  
内門中高書室、高時守室スルコトス

Bebel, Drew & Sydalicum 中、人ニ論  
一部達ラ

夕飯以散歩久心折(ハリ)重キ

九 三

2. (金)

Bebel ナ、漢: 人ニ歴歎ト社会主義ニ至  
ル行進ヲ過ル

例、通ル時著者連志=10ヶ月ス  
執筆者、本手、執筆者及文  
題目ナシ東ル

大林史子、大改壁工技要個別ハ人ノ手  
高田史子、吉松部、完遂ス

午前、汽車製造会社、小川牛郎史来訪  
内金紅、協議会、里ニ意見、大内ハ太行院  
ニオ

柳沢保恵史、在席、日取リ通スル  
森川大内二史子、吉松、執筆ニシテ稿方  
現カス

山久史依海城向温泉の水状、十口位  
休営、得サル、中鉄サル成ハシテ早  
帰所、復カニオ

本日、ニスラ正、満五十歳、誕生日ア追  
還寺、西頃、シ感想記述ヘリ、将来青年、生年  
ナ有意味、費ヤス、妻ノ病感ス

九月

3. (土)

✓ 車道の火河西支川 Lederer、紳士會活動  
組合運動：夏川二支川壁上 又扶丸川  
Willbrandt 端又上正吾 Schmoller 車道中  
go 1端又上正吾執事工 久間支  
消費組合正次記述入へ法ヒナ  
大改修事務所、証券未行  
伝の一部伊藤上京支の數字教換次  
夕8時2十分→支那、若狭山川大改修、序論  
考：後記のルル知りタハツ甲子 7.5) 大改修  
九時過宿舎：11丁目

4. (日)

前 6.40 四時津着 小田原駅行：車勢一八時  
喫小田原、入る  
Loft, Finanzmissionschaff 増江氏財政委  
議

九月

5. (月)

講義、早朝行火河支川、汽車：上車 手荷物、下車  
四時半改修開始：行、四時半改修上岸、改修会長輝  
紅、件、付、全般の而起心トカ本ノ半マニタ代  
：火打ヤラ替シト、セ、二、三洋汽船会員改修  
スル事。

又先日丰後田高吉丸、江ノ川川支の申越セルル由  
改修会船支收船上、件、付、ナリ改修又  
牛込支、全町今一意往スカラス  
カクサ船局、草之原汽船

6. (火)

前 7 - 9.20 現地生徒及学生組 同校一傳  
周出講、21、車勢、不等  
✓ ヨーロッパ支那至ル 成田四半支川改修  
支那、ヨーロッパ支那今春、廢棄、上田原、横地  
スルセラ改修、21、ヨーロッパ支那、ヨーロッパ支那、横地、  
夕食、勿忘、正生日祝、外事 鳥羽村泡又一日  
早、其、心能行矣  
士官清、郎東來訪 又、立原支川改修成田  
ト、行、一、八、主、2、2、行、立原、是即、廢棄、

九

۱۴

零三ニスニカラムカトミナリテノモニノ

7.(15)

「昨日電報 - 今日打谷 = 一袋 = 前八時半收穫芳鄰氏  
之稻，設計歸倉八袋（每袋，件八人以人頭） = 三十八  
袋。貯於張心勤（大約一公頃）稻田倉舍 = 該兒  
子說谷子已收穫半數（至現只得四袋，意向）今年  
丰年，每袋收入八十公石左右 = 三袋左右  
又設計今鋸，件八人以人頭 = 一袋 = 二袋。今年  
八上叢林，得谷子一袋裝起由張家貯於倉舍  
待收。今年八人以人頭 = 一袋，收穫又半坪史  
話。其，意向即打谷。稻田倉舍 = 一袋，旨意達  
～至現只得半袋。今週土墻牛糞評議會，爭取  
打谷。今年谷子二十袋計， = > 三袋又

「一叶養育後、四年左郎史」<sup>16</sup>とあるが、此の後二年  
後父令官、通じて是がヤウ佐助又「右史」<sup>17</sup>と呼  
ばれ、相続、の而今、むかゆう

次、十世伊東行祐、姫代久の子、十四世伊東重之、四代  
孫一時半、御坂町、事務所の西、夏令、寺  
横田史造、山名東大島守也、一井洋蔵、諸丸左  
一、北村史、電報、7月17日、第14回史、得者中一

九

月

久留向東歐洲帶左一叶旗船子木

梅田史山名君へ就法事等付候て、厚く御了承いた  
電足御見附御候、越吉東上代へ人馬報聞  
成田四郎氏持物屋、運一来ル事務所内網内、高  
望并、自毛、書望久須堂食う往文又

8. (木)

前 8.20—10.40 球場生徒及卒生迎  
帰途一木嘉穂郎氏(不在)、伊藤元  
夕方大島秀雄史来訪 大林丸、原稿未削 一寸  
伝入西六刊、厚紙、化成版等トスルモノ  
ナカニ人3件、上野清十郎、故多子

9. (金)

朝行五章(手) 吉野作造史~電話 四成本  
今難波(海文) + 1月 = 幸福スム延期 3月  
早儀不得  
田中吉郎史~電話 一時口技計画へ行け

九月

午時未雨氣、希望ルルアスニテ寢田富去史、  
瓦計ナリ由ナリ統計ナ録ナ一四方安ノ印制  
スヘト意向、過半ナリ、コナリ、右、瓶、門ナリ  
兩行ナリカセル故頗勢度一テクナリ中止ノ由氣又  
一寸事務所、行ナリ内務省改札オハ須田由  
藏史、外、今一名、志川正代、革地盤ニ即ニ  
到、軌跡、行ナリ、而今、  
午以核田史未訪

夕核田奉ニ伊東未訪、四執院、川南行入吉原  
ナリ、同裏、行、此、統計溝沿令譜、寢銀ハ  
行政主合ニ、寢共ナリ、八百石計、壹一千支取  
ナリ

10. (土)

午前核田奉未訪、月集調査、核ニ仰く者、ハ由  
ニ持主サル、傳載ナリ打合又、自分、旨、即核  
校正ス

✓ 研究所、壽附ス、ニ、ニ若即入、利得当時、  
統計ナリ、統計書其他、達者ニ引ム假設、元人  
成田製本部、通スカ、ニ地、太波、達、也ストス

九月

午二時過吉毛、行氣空、立事、美独端、行  
賈組合ニ、實スル資料ヲ列ナス  
今田史、山内史、ト共アリ日下大ツカニテドモ  
面氣、オベート、有ナリ  
鶴坡史、農業統計、夏ニキテ資料ヲ向ハセナ  
カナ、四時統計、録空、行、寢田富去統計度  
牛坂史、代理トニテ未訪、統計録空、先針ナ録  
量指方、熟心ニ及ナサレラウ、足定ナシナハベシ空  
シ、效布ヘタナヘ、腰上ナ他ヘタマヘタナヘタナ  
才ナルが、表ニ一四、カナ空、ハ效布ニ一會、空カナ  
ハナラハ、敵行、坂上八王寺ニアラス、且牛坂史  
帶、キ明ニ、表ニロナル事、過ル、全八支、先ヘテ  
王寺ニ、許、行議、負合、傳、ナリヘシ、叶キ節ハ、僅  
テ、行、原ヒスル、及ブマニリト考コト空、且全一  
意、足トニテ、昂合、現状、顧、此、向、是、空、考  
ハ、時期、立シキト得テルヘニナト就、度ス  
四時半、行議、負合、空、後、吉田中實、將、  
四史及全古帶、會長、ニ、一時、ナリ、總裁、  
面合、法、外、處、行、知、ス、ト、ニ、テ、其、將軍、中  
此、ロ、吉田、候、車部、牛坂史未訪、達、其、模様  
、考、一、今、未、車、ト、ナ、理事、及、車、販、車、行、議、負  
、ト、獎、ル、ニ、善、政、策、ナ、薄、ニ、費、カ、ナ、車、ト、ナ、ハ

九 11

午鑑書收「日本」上直：夏收策、備之  
所、支外、支外、文書、副讀心、熱心、主張  
全、今張在任中、今鑑、才高、風度、不  
思心、加今、是九心、一掌、失、可取、達、  
他、方處、牛耕、處置、舊、株、牛耕、  
田中、史、批、對、四、牛耕、手、手、手、手、  
軍、獨、開、大、野、二、稻、室、伊、左、五、虎、  
处、置、手、一、昔、手、又、四、輪、行、一、丁、草、  
御、手、而、手、拔、才、顧、手、手、手、手、手、  
落、土、應、出、得、手、詳、便、手、意、味、表、人、  
太、向、書、人、來、週、十、生、不、在、中、  
手、向、紙、轉、印、心、抄

洋、談、乞、今、乞、人、未、八、十、九、行、五、時、  
手、五、時、丰、數、乞、難、使、東、車、歐、至、  
一、之、時、丰、矢、車、向、乞、人、史、收、矢、車、不、便、  
手、依、于、得、乞、一、叫、朝、十、四、原、手、手、  
得、乞、手、底、清、心、卑、川、人、不

九 12

11. (日)

朝五時起、手、之、晴、道、乞、 7.10 東、車、歐、流  
加、四、原、原、手、十、時、復、加、四、原、乞、入、一、實、心、德  
水、處、叶、午、前、手、橫、廣、方、面、手、人、心、不、在、分  
地、民、か、あ、さ、ん、万、事、を、達、心、是、心

午、次、貴、顧、史、來、訪

貴、顧、史、問、手、

吉、口、偶、笑、德、承、开、手、二、民、向、實、件、手、知、心、德  
水、處、夕、星、兩、毛、心、心、竟、燒、乞、メ、火、船、可、  
ハ、ハ、手、行、乞、今、道、中、考、ヘ、上、ニ、エ、ト、手、ナ、リ

12. (月)

貴、顧、史、

德、承、史、手、开、手、瓦、上、相、達、上、返、事、ス、ヘ、  
且、未、月、中、十、四、原、原、手、乞、ハ、手、ハ、但、  
金、乞、上、神、助、ハ、ス、心、ト、失、ハ、手、四、貸、手、  
手、9.40、十、四、原、原、十二、時、吸、東、車、歐、著、宣、食、  
レ、仁、一、時、前、牛、达、見、付、四、事、產、章、組、会、所、乞、会、  
手、行、理、事、造、永、青、史、吸、手、下、ニ、消、費、组、会、婦、人、  
備、習、会、口、乞、二十、名、乞、心、在、一、時、十、五、分、手、二、時

九 月

向「外因」：前11.11消費組合 2時30分～2時55分  
 テーブル会議開催 = けつ議院  
 太政大臣帰京 機上取扱い 廉政委員会議事  
 夕食、漢方茶  
 11.30 東京駅発 向列車 8時～11時

13. (火)

前11.15 大改歌署研究会=行  
 ✓ 高田史官復、支那大學生原田未可、由  
 痘原史官復主導先鋒ト監督スルコト  
 高書局編集又 高書室増草葉藻成  
 夕カリテ、行  
 暮中人エ塔ニ座ニカ今回の後面リニ附  
 居室、廊人斗、ス 皿小室、邊一枚持來  
 朝ノ便せん人斗、ス 二重生徒入掛原人斗是  
 足更角重感アリ 不停止人处置ナ

九 月

14. (水)

高書局編集=行事ス

同西行脚書、叶元上一部改米行 徒上一會鑑  
 廉長山野ハリ仰人トニテ五内ヲ贈ル 喜八=七斗  
 一城上ニテ廉長山載セアリ此責任、川動ト吉ヘ  
 ✓ 今後該田字後史未行 高書室、山本丸、銀行ニ  
 事務、方へ挂用セシト寒々高田史官未西ラ大メタ  
 ハルハル高田史官ニモト其ニ而往く 山本丸、通ニテ  
 修業、實業挂用決スルモノ、周ニ山本丸  
 史官、祖母死ニテ、内歎トニテ嘆ニ吊辞ヲ送ル  
 上メリハ故の人トニテ幸ノ高尊ヲ贈ル  
 高田史官復、日暮衛生ニ利益、寄贈是、決  
 定ス

午3時半～5時半 伊藤市長歴数年就任

高田傳達史官支那不在中二回ナリ未行、由  
 本口史官、在車、日暮ノ知セオリ

久留向史官、所負金→清歐二ヶ月近頃  
 12ト算定セル旨、并、様田史官等期一日朝市  
 望、意向ナリ局報不

九月

15. (木)

資料室にて整理又手紙の整理と文書的  
資料、ハーフペーパー類の移入  
文部省、北農史事務所室内へ  
工場委員会は付調査又  
夕食、高田史郎が加入映像八時半頃去  
八木久史、元方加賀山へ下る、細川良一夫人病  
気足湯、並木園左衛門、旨、曹洞宗第十四代住持長  
老教説來春四月廿一日在任、所に御用意、  
越後高史、甲子年付上草刈人へ下る、北松  
史、末週の命令、而今より高申造り

16. (金)

講演準備等  
前西尾主張史事務工場委員会付調査又  
現事務、講演等のため東京へ友愛会大會近々  
開催付、東京意見交換会、又軍備制  
限問題、付方防衛級、憲政院東京ハーフペーパー<sup>ト</sup>  
ト付下

前橋原政一郎史事務所報道部付報告  
代号補助心、内閣出版部へ送る事相談サル

九月

高田史郎の相談、上草刈人ト又報道、文書七十  
枚以上送付されト、又他の報道にて時事報  
合4-5件在史報次々  
午七時川内想会小曜会合27、今朝8時  
等の十時二至三時、社へ事務協議会と工農工  
委員会付調査又、先づ讀書会付意見求  
全人社會問題全体付讀書会、并びに四三人  
の支会一二回、讀書付又如何上達)にか  
か行動方諸處、(2)個人(在実行行動問題・特別),  
讀書会、希望又、又婦人組讀書会  
用計畫達成付、十一時半前散会  
知付原史郎の大林史報告、書名=生物調査付送  
「民衆営業、實際研究(大改営業地圖設置)」  
ト付又

17. (土)

午前高田史郎相談:  
高田史郎、ヨリ、笑ひて、夫々セリムト一王  
大改讀書会付相談又大林史郎、文工種ん多  
事、未下、ハリ读て一、course、了悟向影

九月

ハムホー在澤田木曜夕方例運動会の講演  
其の向、西山義史と社会運動家、仲間  
の達人等。他、一、四人婦大娘トニ大  
林東山 Hill, Subject women 等、類似の書  
解説(約四回)高田東山ハリ方隔保謹  
講演(約四回)之ニ生當時講義(約四回)  
計り誠に毎週例曜午後二時一四時以  
降午後四時半(十回)中旬より今迄  
六午後、会事及び外役河西林山村(人因  
忠種子引と矢作)二處へ去、百忙中取扱  
人物多く行へオハナトビ且末圓一切  
云々ト旨と述べ

前日吉銀行大改支法、志方博原田能太郎  
來訪、皆勵精計画すかと考へ、倍加又厚田史  
近づけ改めて

午後二時半所持手帳内歟 3.44 院 4.52 本部  
着取上、アタシ食大時半、更河上早美子訪  
矣、郵便社会問題発行付経過諸々如カ、  
依託は内史ハ柳田史郎朝ニ待つて可リト考へ  
リ、此が決定シル以上、即ちカスヘト快諾サル  
事亭小執筆スベニ 厚稿、取扱、任、カルニ  
郵便法議長リ「社会問題」物語、載入(未)

九月

八月八日正午發行、八月廿九日發行、九月八日  
發行(約四回)ト仰テ  
ハ木根君身上、就中相談の處、意見にア体感ト  
シ、御差し奉心又皆略問題ハ正則トスルカ立  
ヒハセ其事、相談、リメハ木根君上空、壁の身  
上空又ハリマント吉川、全八事内史、ヨリ  
益、リメ御所、利益、リメ事ハ机主翁ト達ヘ  
Borchart, Einführung des Marxismus 及 das  
Kapitel ト行ひ、去後セラヤ但心其、即の  
次挑出者若者約四十名計5%、予想を得心  
立代價約四百七十円ナリト、相談アリ 全八事  
御心待心大島君及高田史郎相談、上不口返事  
スヘリ旨一オリ

小林輝次史、成績大、亨ル旨ト水谷君、カ  
リメキドリヤルニ旨ア得ル

山岸一村君カト林君入院中モ、以仕、希望  
アリ、河田史郎、相談アリ、内史ハ別ニ署議ナリ  
議アリ 全八事墨文ナキヤラナードモ相談、大  
要アリ且小林君入院中モカ支給、要ナキナ  
此、莫ラト林君、才合セオルリ且ハ伏れ  
モ、他郵便シル時前章考

9.52 本部歎院 有公、入ル

九月

18. (10)

朝八時四時冲着大時，顷十四厚毛入ル  
室，吸至後妻藏東京の事心先口古井  
ツタル結果ナリ 昨夜ハ30日午後、田ナリナリ  
向計，滞在養生スヘヤウ。 江戸  
今夕滞在，種ナニニ例，事件依頼何ナリ  
不愉快 実 3.28 十四厚院の烟草少食，上  
帰毛ス

19. (11)

✓ 終了書其他，郵書ハ凡て行氣所と審時スヘ  
決定シハ本日既に用意此ニテ御物以求ニ  
得，下物ニ積ミオル書籍を整理又 カラ本裝  
入ルハ直々一通送呈ニ極大改ニ送）假設ハ元  
ハ成田ニ移：翌本日送ルトクノ後布二万冊  
ニ至リリカ

謹義，早仰ス

九月

20. (11)

前 9.20 - 11.40 徒观生徒久季生知  
ルハ工文侯皇帝ニテ，松風丸，俊ニ下村云  
史，久季，喜会アリ（日本公使ニ就キ★坂朝ロサフニ  
入リ洋行ニけ道別会）今者ニテ名ナリ，ハチ郎解  
ハ今長ナリキ  
尔之等大臣行氣主、行）日本サト大臣，株生亡  
夫夫未計 美口吉野作藏東ト同道未モアルケス  
在ナニニ叶本日電話ハ行乞ヘ外然早ナリ 11大臣  
ニ社会事變解消ノタルニ付设计，謹義依頼アリ  
今、次下到此不能ナリト事ハル、准シ伏見  
半丁四月乃至十月、タチス人或ハ都合未ルナニ  
計ハスナハヘンリ支々得ルヤウニテハ心ナシ，日本  
首領心ナリ死ル

乙ニ當初主ニサム令，俊ニ豊川豊彦史，  
謹義アリ名刺ヲ而ニ付持テ走ヘオリ  
小野伊太，行氣主、訪，帝國勅書館面接  
松，件ハ他ニ道高，仁ニ謹リソニ人ホトシ乞フ  
往ス

行氣主ニ山岸丸、今、大臣謹義，傳圖寫行  
12月15日，故授今ハ幾スル也ハル  
カラ王時大臣諸君の内毛

九 月

徳山支、先川件、母の手紙にて金袋回  
裏見テス、クルト、元、一ノ元半、十四厚ヲ川掛ハ  
リキ旨、大失ス

21. (水)

午前 9.15 下井丸、改テ東京駅へ足道ル  
午前 10.1 大阪城跡を廻ヘテ之ヲ見ル

午後 一時半 ヨ動坂町事務所、所長会シテ  
北伏見町 ~~大島~~ 京野江原、若丸左

北伏見、久留米市書院近頃、草創、木本快漢丸  
朝倉一寸桂田史入大島史、皆其一地区第一号至  
稿、叶キナニ事ハ合セ、失之、失之

北伏見ヨリ大曾根史、叶一寸依頼アリ全八判  
露中、高丸三郎、<sup>新</sup>書院桂田史入大島史

カニ三時過事務所、事務一主二十二番板室、  
南加利ル故 Prof. Price、追手会ニ吉澤ス

太田、云々時、営繕計画会一行、田中史ト打  
合ス、有税金、立賀半五が下りて立賀掛川、六  
刀入十旨、廻船運、手書立川一立風、十一  
世、主旨、牛母史、手本ニシテ送ス

今後又字等、毫以策、實入立賀会人矢野恒

九 月

大東洋橋、三号カルル由、今飛、川島田部  
大島史、桂田史アリ、ト、コトナリ、佐川の史、事達、得  
ハヤウ田中史、桂田、東北廻西、手長会シテ、  
カトスルアラモニシテ、

ソヘヨリ帰是、今西、御子、小内サホ、セ  
史主翁、方、ハ夏、主翁、全地ト、一ノ考ヘナハ  
旨、毛心才、立事、仰用翁、ナリ

22. (木)

前 9.26 - 11.40 理想 生徒及生徒

在行書の会、空手史未行返口言カム、講演  
会、講演、依頼アリ叶ハル

本日成功ヨリ大改、奇附、書冊、五、六、七、  
五、六、七、上、八、九、十、十一、十二、十三、  
マラ来シ

九月

23. (金)

午前研究室へ行け S.I.V./S.P. No. 46847 - Arbeitsausschuss (宝21-2) 市議会

午後山喜一在東京市役所 十月の採用(十日未だ代理、意味ランス)、希望、達へ一正選候、意志アルトス(可否)心配アリ、旨立ルル 全く西現状到付月五十四日以上、ムーハに之を始候、件は過去二年震叶一ト達へ 10月南摺事、上区事、小田原又一大改一通アル・カ・ス

締結理一部吏事の費商務省、行動保障組合=新規、口アリ 大至、万が依斐過境セントラル相模アル 全く他営大手院へ研究ヲ続ケ端核、方々此擧引立タルか立一カレヒト、意見達ヘタ

四勢院、税金室=就・千葉ノ  
門人社の Butter、校正へ送り来ル

24. (土)

午前十時半 四勢院第一部へ行け 支計室一  
整視、特別委員会、11月14日付仁友本委員

九月

前段の半生 美ノ室(付木質向)、税金室、支計室、内閣四勢院整理、其の税金室又は会、改めて全小柳役史、内閣の厚生計画と監督の事に、次に、七種類、調査方法と質問又は答へ、長年太々子立方アリ 費量、近ニテニ時、税金質問ヲ打切り次回は続ル事アリ、故今牛深吏事へ支計室監督と会議全小柳役史大作面、從來、吸収、依赖又の如ニテニテ年比年々代え通、セントラル

折役吏、自働車ニテ東京市役所、例マジの来函元又今シタク=十日空=行カレト思ヒカ大方被ルヒム明日本行コトス

事務所=行ナ橿田吏事面会+主枝取扱諸氏=是ズル付託し方面計件 及駆逐、21+ト共イオ

25. (日)

朝六時半起 7:50 東京駅発 小田原、走  
入レル、十時半、飯+

午後史、時矢、金枝明日二日帰京シタヒト、21+  
之が村山幹地、川口ト一ノ此ノ學支分監査、可

九月

トスヘニト左カト今一週向滞在ヒセ、旨成田  
四郎氏一申遣ハス

河上史一忠 Borchardt、翻訳機二件  
預支拂一件、大島史トモ法ニ基様、旨中心ヤル  
原田沼千夫婦リ母上、食敷行ト勤メ莫心  
マラ先ロ申故ニリテ貯日母上ニ往ニタヒナ  
カレズ依フ事、旨中心ヤル

徳川史ハ産アリル支那ニテ貿朝下浦へ行  
ト不在リ方マラハ帰ル、ヨリカリシカムラス(依ラ  
書狀ニシテ)封ニシテ、天朝至急ナ原  
ヨリナ拂ニ東京ニ高)握サリ。尚土地ハ  
母上ニ相談ニシテ立心カルニシテ貰ムコト

於八時過支那 8.48 金剛座駄突  
9.05 四時津荒ニ大坂ニ向、舟券、入ル

26.(月)

貯物未雨ノ墨ハ兩トナガ車費拂ニシテル  
午二時向乃ニ由カリテ朝天時、頃熱田、伊豆ニ  
至、軌道破損、外人運物不能止ルハト而時  
向計、十時過津川單鉄矛道、前進又矢車中

九月

トシ行判、賀川豊彦吏、「死後ヲ起ヘテ及猶ニ  
易吾貞製造(S.d.V./S.P.)」債計トニカラ大正君  
於四時過大阪、署、近道、走墨奈瀬、御糸ニ  
カリテ清々タルマクレシ、亨福ナリ

空達ニシテ虎・安来節、拂ナ九時半、頃所、  
入ル入浴、以向モノル沐ス

27.(火)

終日工場委員制(付添)ハ  
✓ 夕大時過御清童(皆上)ニテ友斐今至、工場委  
員數十九、皆ニ工場委員制達ニテ+清添ス  
及貢向ニ思ヒ十時半故今蓋ニ是日西尾史代表  
ホトヒ大清添、此後アリルニ由ル 天王寺壁屋  
署、笠置神某の人トニテ聽講、希望アリテナシ

御川史の来狀、亦ナ壁大洲税事、吉井川某  
費用トナ大正借用、申込アリ、早速奉り送リオ

九月

28. (水)

小林輝次吏事日未未西中、今朝立部八伊  
三川の吏河二史、相傳、此軍ニ出来シ入貢  
中十四日至二十四支作次ノ事ニ侍、山岸一姓  
吏、官僚ニ支作ニカツル入江ト、越乃孝慶  
シテヘ、若ヘ才

馬書、方策ス

大島、記者草來訪西、近次ヲ詣シ才

后一時遇今後室ニ、所貲金三弔、高田大  
林山久村田太田、河而林山村、始史考拂、  
河上學吏が相傳原稿置板、往、おハル、后ヲ失  
フ行、九國林河西之處、原稿<sup>上</sup>傳切ト  
中旨又立施田事、面知ニ夏秋之數、至急んと  
書、又、相傳、失云又印于A紙六

十月十一日十二月十五日毎木曜午七時一九時  
高定社会運動中、河而史 Marx、林史 Lassal.  
九國史 Owen、山村史 Jauris 又 Proudhon  
山名史 Bubel (主)

B地、婦人四心大林史 Mill, Subjection  
of Women 錄、高田史兒童向日葵 每日曉  
午後二時一四時 十月十一日十一月十八日  
共、元貲六十石、行中黃告、叶支望有三著、

九月

講習期一四二ス

大原洋、高史本所、倉敷、方面の法生与合鑑、  
編纂、要心医士一人在用、漢アリト相傳アリ  
高田史久全其、也、大寺八十加ヘシト云ニ足、高田  
口講生与合鑑、昭和、高田、要心高田講師史本所  
サムヤラ申旨ス

久高弓束、備改近郊、已、高田史の通ニアリハ  
吉日宇の便、草議、火候、快慢、不得

更、他執讀、二時過去リ、大島史、今朝來  
所奉口大原史の賃金、融通、得、一九五五  
年、吉日院内草加、高田史近口立部、行  
後、高田史、吉日、書冊を收手、執該執事  
叶援助、依頼、ハ、差ナリ

后4-6 伊左木市史の数主取換、文ク

夕食以括、手行、美太夫、應、

馬書室、書拂、拂茎落成、書拂、但立、  
仕事、(成ル) 漢、書拂、(成ル) 事上、(成ル)  
堪、堪一ス

共原史、病死良叶足工古、四十九

九月

29.(木)

Henry George, Progress & Poverty 17章  
Putte, 校正了したので順次東京へ送る  
古今会議の貢献は今後ますます山本史、原聖  
教の、大日本民主主義、山本草野、佐々木ト  
決入

山本史と相談:

山本一枝史の「東西」希望: 大日本民主主義に  
ついて、草の二月計り東京へ郵便、記事、方  
言のことは、大日本民主主義、其の二月  
の山本史、没後十二月後進へ手紙、又其  
の山本史の「東西」書の二月

八木沢史の「政治体験」の手紙へ心に、意見可  
而林史主の内心ト、2月、今、其の河上史、  
傳へ乞うて、かく河上達一オ。

吉田達史、入所の八木沢史、道退の吉田達史  
地主のソーマス・ホーリー博士、高日本  
が印刷工部工場、煙火の内核、二月  
差支付高達一オ。

大日本實業会の活動事務局活動会館設立、敷  
地、大原氏: 財團、河上博士、達成  
の、今月時機、宣傳のため、達成

九月

山本史へ 2月支那東京へ赴かへ、是ナ

大日本銀行院長吉田二郎史の書記長佐藤良輔太  
史の、日本銀行院長内、利権事、其の十月八日  
講演、大日本銀行院長太田在、時十人、手ハル  
大日本史へ出た、大日本銀行院長、佐藤良輔太  
田の手紙、其の手紙は、原稿を数枚、当地へ至  
る郵便局へ手紙、甲ニヤ

30.(金)

Henry George 行き  
Putte 未到校

大日本民主史の身のまゝの様子、月額有内  
外文書、その手紙、河上史アリ、其の内、相談し  
不可改二月分、2月14日送入

久留向史の手紙、中、Web氏の近著  
Socialist of Commonwealth、翻訳機関、筆  
報アリ、他、Mr. & Mrs. Webb: 古大、計画の意  
を表し、河上博士、河上博士の執筆、併セ、  
方略、方略及社会事業、方略、贈呈予  
各の、山本史の書、2月=十日=講演

九月

九月

太橋社奉式川故古史ヲ守主マヌハケトス  
トス+ノマテ借カツヒト中継サルキリ近々  
Patty, 桂川 Well, 酷次翁至急要スルニ  
アリ未竟、急に對付至急兩所、配慮シテ、旨  
申述)

四時、故古史・虫共・林長・相談至急用  
函サルニ、若ニ吉東サル、下遺憾他一人、未  
シヘント申述ル

核一等ハ他に別に枚書御有史、換革八  
卦ハ

十月

1. (土)

退口事、口記ヲ認メ 転移處理ス

Patty 木制枝山

午前今度十一郎史、銀介=ア竹林孝藏史來訪  
太政甲種商賈、平先生、ナ入所希望+ノ鑑定+之  
ガルヘキ高達~オク

支口未決アリハ歎古史八足、及計以希望故  
同アリ支風ナリ

午六時半所ナラテ酒五万、  
午7.5) 太政欣賀 同エカリ雍翁=川人ス

2. (日)

前6.40 研究津原 小田厚生、入山八  
時、喰+リ

德承史ハ仰く去ルニ+入口ニ告、方へ行  
クトラ退考心ナム既設矣妻ニ持手 但心末  
月立口ハ無残リ、荷物ヲ取リ+未ル申  
致シタル由ナリ

幸久處独、面守院ス 本口川道帰立、  
笠ナリシカニ+入口既得、完熟遠いロウ

十一月

前日午後二時半倒しケリ、又 昨夕腹車行ア  
而今朝人輕快ト立、併シ丸掛シトナタレハ  
川床セヒテ勢ヲ測ルハ、二十八度五分アリ退  
布シ迄コス

益食筋肉野菜等、主人牛糞中ナリ故  
夫人ニ面会シ 大股の持矢、かまほ古ノ是心  
今日の内声ヲ聞ニオハナ故万事依頼ス  
此漢子一萬事かあさ夫人ニ在途ニメント、  
ナリ

帰ツテ幸改史現以計入法以上ナリ  
益尾ノ役更ニ御用以四十度五分計、アリ  
油封ナラシ共一袋、堆疊中、來テ之ニ  
7. 塗抹斯、疑リ病院、役付アル乎、  
入心ナ立心ナシ、2.3年寺内ナニ 皆感  
シムヘ 嘴懶或即ち訪問、相談ス 色柄  
病院、掛合ハシニ付、十日厚病院、室室アリ  
但心院主牛糞中、今夕因モモク、上十三三  
・・入復算計ニ薦先シトナリ 依ラシマフ、看護  
婦ヲ時々ナリハ 嘴懶史向道ニ軒才合セ  
タニ時也拂ヒ机 出寺寺栗原通印、  
古今嘴懶史、歎感ニアリ 伏れセシ  
室アリ入院羊謀ナル 田毛ス

十一月

向エノ栗原比来行 おあさ夫人、助ナ根皮  
奈良丸ノ人力、載セ病院ニ送ル、三時、坎ナリ  
一足ナ空ルス

嘴懶史未訪 一万事費甲、21ナシ 伏輪ス  
カク尔四時半吉毛内ハ 部便物等成建氏  
・高ナ下ナ付札ナ得シ おあさ夫人一類、オ  
4.55 小田原駅是設、入り田毛ス  
・體毛ニ次ハ健強セビ、ナリ 七月二十日來是敷  
高塚川床中五十度医事士(吉澤氏)役付若、ナリ  
佐ノ次ナル由 一駒寺一駒寺、有様ナリ

3.(月)

昨夜末一章完勢、氣味今朝勢二十八度、想  
ニ辛校テ休マセキリヤ心ム

益食及廻輪院ニシテ、仰門仁左二番先ナガ  
太二時ニモ要矣氣々司、全吉ニ次四、燒ナガ  
計ニ金盃、順序、既ヒ要向ス 異商務支計ニ  
就テル、次回、口荷主(元若)ナリテ木山人トニ  
ナリ四時至、散今得元ス

留守中五十度医師來行 看護婦戸坂千代の氏

十一月

也送、隼人 等人、またエキス院幹事会川口等  
夕十時五十度以上、まり、四十度以上、  
附近病院へ入院せしる外、可れにて全軍議  
万事如意、佐井又一郎は疑心からて明日  
午前、上或の同時、入院せしむ  
床内、運動甚しく、神經衰弱、運び入る

4. (火)

前9.20-11.40 理性

電信=上野道中丸又枝計略今度行方  
不明、心向、隼人等の朝又  
帰先に高田復興史=古川、幸次史、柄木少佐、事情  
午後二時半下改六、かくかへそ故讀書会、其二  
高橋、处置ヲ取リキヤハ佐井又

午二時、坂立辰彦命來行至、入院手続、  
整容、而後又酒マ又外飯一郎元年入院可ト  
八一高次室又同又三十、四十、五十、六十、七十、八十  
回道心ラ整容器、行十一郎入院、追加仰30  
次、70、80、整容又送行、方の調心隼人  
事夫高=賴、特病入院一台、又入ル(普通

十一月

「節」自動車=通の規程にて自衛軍前27來  
川口特別、行方不明ナリ) 今度行方不明ナリ  
浮上にて行、2~5人車長人力にて前27至ル  
カツタ七時、坂立、消毒班来ル始メカリ次  
一部ト運ハ既フ主便所時子ナ消毒又  
病室、特等室、更中、貴婦室+) 退院數人  
消毒、上毛、近江トシ行方不明部病院、7月  
ニ万事清々近印、行持失失、入院過歴人  
物心の現象又罕少快怠現象、空氣、意=意  
此度、被一テリト21~22時迄ナリ行壁一  
周ル

5. (水)

午前社会事務協会、本間義房史来訪十一月  
六日大改=此ノ社会事務大会、特別講演、行  
來アリ全10下、亦、事情ヲ告ル事達心算又一  
高士塾等、上明辰日延事又、是一ノ

山寄一大史來訪、差当、下改中止、5万  
Wibb, Constitution of Socialist Commonwealth  
'翻訳、原題ト訳心の実現、東京朝日入社

十一月

支店中十八日、不遇トハムニ從事のモ高達リ  
ト荷事ト支・病院、行リ二人モ静ク・床に・左  
河、障、エ+1時遇立トマウナリ是ハ安ヒス

植田史・河上史モ詮達是行正期、意次中心斗  
シムヨリ考観スルヒ

✓ 大一時半川西販会ト同) 植田此以山名大島  
市野一樹訪鬼女等

詮達是行正期、件ヲ義ス北次史・半載計  
正レト加ムト云ツヤウ、意次 植田史・一月正  
半今一月一日是トスルヒ山名史ト支  
調査資料、方面、一層力アガルニ、足得  
リテ 病院、障、一月正ハスル、意次確ニ  
リ植田北次史又資料種々控エリ 植田  
史・山名史ト支、時報、カツ賀ヤスヘン申合  
サル

+1月三日  
讀書会、中間モ北次史、變販制法研究(支那)  
Graham, Wages of Labor (約五回)、植田史 Kauky  
Dictatorship of Proletariat (約五回) 十一月十五日  
約五回 今第ハ前回過、会要一回 之を互  
トス

植田史、仕事人入門トテ、分派仕上ケルマラ、行チト  
北次史の報告アリ

十一月

山名史 モ古夏史、印刷工罷工史、出版、座談會アリ  
大島史トモ相談ベリカ山本太一史入ル、眞アリ 五三  
夏位、信ムハムニ忠吸、式、スルヒナリテ、旨ト古夏  
史・通スルトス、大島史、本邦帝國、資料、而  
實上ル、且山名史ト往ニ考ヘテ次ル、善オリ  
カテ五時遇散会ス

6.(木)

前9.30—11.40 理理

大病院、兄弟、兩人モ整井リ皆ム但  
ナリ、四十度ニ近リ一部ハ二十八度ニ近シ  
セ支・元氣ナリ

夕星五十分近印東洋、またハ高熱日晚差  
トニシ温射ナス

✓ 今細川嘉之史 東洋、印日本東洋、大  
坂、行チ北次史ト別ナリ、既廢、領ト九州、  
旅行、計畫立リ、是ナリ、現ル情況又轉  
達、ナリ、一月正期レ見ル、轉成、意向  
ナリ

十月

7. (金)

午前裁書 午後義防丸、大改社会事變大會講  
演、世人、次々

午前場調合、十點半大會來訪 下旬大改ニテ  
→戰時報介講習会、設計講師、佐藤川川財  
部長、経済大臣、書士官人等々

大島高太史來訪 昨日十四至十五日病氣犯  
難、口音向東之手章、經過十九日、蓋、大島史  
元舞、佐藤川川人也

午後病院、至一

高田復委員、其狀、讀書会、延期ニテ車一  
十七日、予予予予予予予予予予予予予予予予予  
ス、十号、申ニ送ル

十月

7日

7. 8. 10 — 36.5 —

Khu — 37.1 nach Huan

5. 10 — 36.5 —

8日  
10. 10 — 36.1 —

國勢院事務囑託 江刺喜四郎

赤坂區丹後町九十六番地  
第一郵便局(電芝五七九七)

十 月

十 月

7. (金)

午前故書 午後美術大改社会事變大會講  
演，對人談

午前協調局，午後大會來訪 下旬大改：郵  
政監督會講習會，設計講師，修改財  
部文、公文、書面的郵件

大島高松史來訪 昨日十四至十五日，病氣犯  
身，因未及早，經過八日，蓋大島史  
之舞，佐事心外人

午後兩次：至一

高田復委員：出席，讀書會，延期二十一日  
七點半開，可細心地，尋找，處理，仁  
三、十日，申之送人

十一日

7. (月)

朝鮮人民軍夫人来访 故障修理の旅行=付身入院  
・半八由一子、女接元、相模原市立八日川小学校  
・六八八~半八日小中島中央公民館にて1月下旬、去  
野久(相模原駅前) = 二葉町立外ヶ谷小学校  
リーフルマニカト

Somberl. Syngonium 2枚>復々

看病院へ行け世人はこの月、入院する間日  
退院カト思ふが未だ

転院>處理又傳承塞王亨復々

8. (火)

八日、午後一時半頃 既に午後 Yekne 2

Somberl. 美國社会運動、即ち復々

日本より又一時明治前半時退院=之は  
汽船

9. (水)

八日大抵治癒起牀 事実=午前大時、  
看病院へ行け世人は午後一時半而一ダース

+ — 13

大段讀書氣憊，午前3時  
十時二人去，入院一元均32刻，命氣=3衰  
弱=差(+)±34%失心電，午七時退去  
午8:30 東寧厥，是次向右，無右人入  
地即外太郎史人者口呼吸，尚得二萬事，其  
後史之事か一ト也事又  
右內眞二度右量口呼吸，偶計之，大的  
回地即來狀，則接於右，一吸口吹才

十一月

10. (木)

前 9.26 大改易道4-行承所へ入る  
午前高田史久山公良ト共、八木伏虎、处理二付  
相傳又 蓋心の史久山公良ト共、八木伏虎、处理二付  
周辺にて 御心高田史久山公良、高田山公良、勅告アリ又河上  
第東の立入づれ先アリ又、結果高田史久退転御差  
跡度に至り依斐在所アリサルヘ仕合ナリト中古アリ  
且一時の先田夫人(八木伏虎の娘若母童)本所10月  
1使津人病薨、原因刊明附て同年十一月分明ニ主  
義之徳アリ由高田史久、大内人接扱止メ又使津以外  
同虎193=弱所失心ニ得策アリサルモ既テ仄かニ外ニ故ナリ  
又河上史久アリ一旦病氣重ナル理由にて退転御  
差心ナリテ更、既由病失心リトテ既病ニロ夫、本生留  
メテ御撫君心方望ニシテ來狀アリ ソレヒ二人協議  
シテハ既病又全ハ七疊退転3付カズ外事  
既心計191而向付テハ是ニ元告ヘサルヘカズト達ヘ  
高田八木伏虎、意次ニテ御身娶スルトス 御田  
夫人(明治末年、既病ナリ)、既ニテ人接扱、外ト全四  
人、意次トハ内處、又在所失心ニ得策アリタル旨、  
達サルコトス

是食以八木次喜上院又曰史吉即叫本，希望上院留待久望山之故史及所立史，次即十八史

十一月

先アリル故 駆委運行中古外局達込一却全  
案八へる趣事ナハル 全八回内行以来強制處  
事=行車ナシ又他、事情ナシ無事件=運ナラ得ズ  
所為、元方ナラ往解不得リ上ナシテ不可ナラ今相談  
申札紙ナガツト

兩回來在行、細橋小虎東=面談、回史ノ數ヶ月  
ナ夫人、里ナ四回=暮ヒソーマ洋行、笠ナ

八木松史、希望、高田山久二丸、各ノ熟考、上  
明朝更=相談スルコトス

謹候、卒仰ス

前七時一刻書信、金津二回 美國社會運動  
実梗概元了謹ス

友委會、松井史、而今、方側向其研究會、所宣  
1 謹候轉印ナハル、當時の無報酬、立人(60)  
ナム、シルカヘト著ヘタ

11. (金)

午前、高田山久二丸、時、口川信子、協議ス  
支那在地八木松史、要、希望、達ノ、山久丸、此、降  
回史、起所ナガル、行ヒ、高田史入船ノ回史、行ヒ

十一月

problem、八木松史ノスラコハ回史、希望、毫ヒテハ、  
意見ナリ 全八回史、希望、毫ヒヘ、皆、此、等  
frankly=全八回史、回史、健洋ノ外、此、有心ナ  
感、ト、達心、達共、ト、一事件ナハル、局ノ明功  
セオクヘト、考、達ノニ、史ニ達、之、達ニ、之、至  
空ヒテラ所為=諸人ナガル、ス

ナラ、セ、一時、先、大林森川ニ、史ニ、想、要、後、九  
九二時、此、佐田夫人、未、病、ナ、經、過、達、ノ、全八回史、  
矣、安心ナリ、此、陸、支分=所為、往解不得、ナハ、無  
事件、ナハ、復、行、ナ、達、セ、四、ナ、ナ、八木松史、  
希望、毫、ノ、另、ヘ、ナ、達、ナ、ク=十、ナ、ナ、ト、考、  
九二時、坂、川、所、貴、金、ナ、シ、高、田、大、林、森、川、山、久  
林、河、而、山、村、社、田、落、原、九、周、)、諸、虎、寺、寺、協、議、ス  
別、要、議、ナ、全、土、厚、皇、決、ス、ル、ア、ナ、カ、ニ、令、鑑  
宝、作、若、ヒ、高、支、分、熟、考、カ、リ、ト、明、ノ、ナ、前  
、意、見、ナ、シ、中、カ、テ、ラ、ト、ヒ、五、等、故、会、ス

午五時、一時、伊、有、氏、教、授、授、受、  
夕、食、以、ナ、重、行、ナ、山、久、史、梅、田、方、面、行、ロ、  
坂、ナ、ム、立、寺、要、入、ナ、佐、野、ヒ、ナ、重、ナ、萬、  
金、十、時、半、坐、ナ、セ、一、時、十二、時、峻、田、所、ス

十一月

12. (土)

✓ 朝八木恢史の重々希望達べル 昨日佐田支  
人叫賣にて因り、事情伝心、以若心再び健康  
と接せし時弊處決スル笑い元一旬二一乞計  
ノ、是れ在所當心心コレステ、怠慢懲ラニシク  
ト旨ナリ 全ノ深刻味之の返事上へニ至ヘオ  
佐々製鋼所、过半弱年士業行工場等々  
会制被付意見即ち一見足り達ヘオ  
午前十時ヨリ今般實件有向テ八木恢史復  
新付意見交換スルニ別ニ要議、又ヨリ(但少林  
久の如く)高虎、或勤共3種(ル・ムル)ト、ナナ  
九時十一時過高田丸上支一八木恢史、九時  
起の健津上河西長、体山口起以皆ハヘ  
皆ハリニ次ニ此ニ壁遠慮ナリ余、意見付加  
一聲生スニ即チ興味中心の社会問題ノ死滅  
ノ、慶アリ要綱味ナキヤナリ此、莫注意ケルニ  
即チ健津上河津ナリ此、眞切近ナリ將來予ノ  
分ノコトアルニト達ハ 高田丸上河久從来  
我代失心ル事アリハニ注意ス  
八木恢史、是半夏、支方欠入、改ムハ勿ム  
ニト言ハニ別ニ再年又ヘテニ達ヘリハ既テ  
ハニ日本復計ノ事ニス。

十一月

在所今般實件有向、今般實件有向八木恢史  
ト、合規付貴セシム

11時半八高田丸上相談ス。

今度十一郎左衛門改付嘴耗(通報西川)依頼テ  
草稿スルカス 碑記文句等大至才次第次回  
味スルカス

十林輝次丸十一月二十日手も支給スルカス  
(如金額ハ高田丸上支上行金、上毎月十五四トス  
即チ不變、時々二十四二テル支給スルカス)  
上生虎、11時半支給、ナリナリナリ丸半  
十月、ナ一先打却、ナトナト活ヒオ

宣誓以簡書、蓬紙及合款、ナ心往事

右一時過正階、茎詔令ナシ、十林輝次  
丸、神下方衝動事議ニ宣スル報告ナリ

簡書室内、書期明キニ未完成車口型沖史ノ  
請見若高島屋、嚴美セシム明ロ申明善セム  
諸事打却ルカス

右五時食堂ニ牛内益ツ、小林輝次丸、  
八食送別会ナシ、叶明正道史ニ朱金瓶ハツ  
、而外心

八時出所 加田原、持氣又ナシナ吉ナドアリ  
ナム天王寺駅、(丁) 8.07分発 9.05太波

十一月

是向叶ノ麻生入ル

13. (日)

午前 9.40 頃村津署へ向ひ十日草先入ル  
 +一時、喫茶+  
 午後 退寺村東一丸田村区会議員、住之主訪  
 二時、喫茶  
 晩 工会更正、ミヤコス 特中+十次三平ノ以  
 下

14. (月)

午前 戦野百蔵-大東行先、喫事並不成功、  
 供果家屋賣却心地ナリ 及今、販示の保有心得  
 精+此一過=手高君トハシ宣ヒテ若處カツヒ  
 又地ニ精ハシテ未免一欠少ヒ難カツナリ 一時在住  
 ハシヒトリ 命毒、コトハシ 宗本ハナク便宜、  
 朝ハ心地ニ成ハシルハシ精リナリ 未免  
 ハシヒトリ上ハ更ヌヒト近矣  
 遣義3半時心 11.50 十日草先上京

十一月

14. - 5 大東講義

「人ヨリ帰る十度二人ノ甚千程過度ノ如心ス

15. (火)

午後、講義ハ休ム  
 14.1.3 大東講義 ハヨリ一時向計、行方  
 金、墨書ヲ整理ス  
 14時半、坂井洋行にて行方尋ね事務ヲ見ル  
 夕去村立印東來訪 坂井君道にて早稲田大  
 學ハ銀杏木ノ御外支瓦ナリカ 高士中島(彦太郎)  
 東一郎ナシ 那新入社、配慮ノ類

16. (水)

午前 11.50 退メナトス  
 14時計賀会<sup>北辰</sup> 横田亨野 大島越智良蔵  
 (諸事ナシ)  
 八木根史、件ヲ報告、筆記ノ得  
 今14.1.1 郎史嘱托、件ヲ報告ス  
 北辰史、讀書会=達板處高等読書會事務ア  
 却々復壁ニ之10月起也久松大島史、合ハラシケ

十一月

午前3時半から午後3時半まで北伐軍の討伐人。  
蘇聯に退去せられたる者  
北伐軍の Graham's Wage System = 廉價正義  
等、銀元アリ 買つたる計議)支  
夕食・井戸水(支)七時散会  
留守中、駅木牛直丸上草、市内23時  
向川

17. (水)

前9.20—10.40 理論 学生四休  
午前9時半 徒歩、荷物を運び人手二名  
=積み替へ即ち十全の電車 = 7.2.4.5.前  
午後 1.00 東京駅発  
午後2時半 徒歩アリ 東京駅、3時半  
大内内閣復活下院公演民、記事・大臣行進  
1.午前、2.午後車中でハルク心配に伴う午前  
午後1.午前1.5.オク

午後3.20 十四車=弱り人手=3名、入込  
午後4時半 案内役、性、社会運動家、即  
通日本ケンブリッジ、知味、1832-220休業  
トスノ電報アリ 大学一時日本債、旨書ハシ

十一月

又十四車駆け回り、麻雀場火薬ノ一走市地  
=居人2人

18. (木)

午前8時半 徒歩、德承東、毛塗一八ツノ江  
橋子工場の木タル仕立物果一箱、足ス高士  
加藤さんへ 及物(7.5.90)一束 かとすさん及ぶ  
にてさんへ 先生一箱、燭台  
一部午後、晴れ海舟へト散歩

19. (金)

午前8時半 実業社、才五校二年制、独立社会  
運動、夏文化部分、午後4時半  
一部此の運動に連坐、公演一場、知味、ハサウ  
院教工七壁工、達乙平外セム

20. (土)

午後過横濱東方

+ 一月

行政機関印付と奉公呈文

萬葉抄序文、古文・平文 = + 18.10、要復合 3+ = 11.2 日

：近頃アーチ 梶松史、相模守（佐助）又

河上翠史：古文、八木松史同行、既退、達一  
門史、指導、以上トガラ類：オク

高田清徳史、東京へ向、古文、朝倉義久、同行  
三・四人故吏、井ノ美子以・大政、内閣大臣、  
桂川正事又

一部、蟻盆高マリ27.3トクタル故人配ヒル  
ナム、16.8 = 下、安心又

Herken 3歳△

柏八時退書先 8.40 小田原行 四行津 = 3急行  
・集替 - 9.10 先申 麻生 = 暫

21. (月)

前 8.25 大役計 74、行乞西 = 入ル

Herken 3歳△

扁書 3歳△

夕食後 はり毛 3行△

+ 一月

22. (火)

Herken 3歳△

扁書 3歳△

23. (水)

既出而、同義、Herken, 2. "Schütze, deutsche  
Sozialgeschichte" = 3歳；送、傳説、草稿  
→記入

午 3-5 伊藤氏の歴史取扱決  
入込達志史の文、既成、方医主士室丸妻  
改修 23.12月 - 東山 21.1.1付森夫人へ既成  
「依頼」の文へ既成 24.1.12月 → 文又

24. (木)

薄意早付

✓ 午 7-9 1/2 社会運動史才工講 美子、  
御手二刻 3行 - 独逸二行) 東山 24.1.10 Goto  
個々便マハ備△

山火薙十口同行、東京 = 行かル 4日四町

晚、遣、薄意次第△ 大坂丸、報酬付人ナシ△

十一月

入所、希望サルルが方法ナリトヘトナリ 全、差高、  
高峰鳴林トニ成績現テ、高氣ナルヲ可ト  
シ、高田史トニ相談セリモ、オ  
而後主張東川流モ支給、希望アリ且謀ス  
月島木中創所へ元創共核一旨入、所、高田ト  
人件相談アリ、今度主創全金、模様草=モ野  
菜、草地アリ者ヘオ  
始終、根アリ達成シテ、高田史、ナム又、  
高田史トニ心成田而即瓦入大改、鉄車等、其  
ノ事ス意念ナキトナ付相談ルコトス  
ナ前大朝記若瀬近彌太東川訪、又宮島御  
宮史東川而大寺一松神社主翁、心古、ナ  
ヤト屋アリ、心古、ナキ者、独ニ主翁松神、付  
相談、獨ニ大使、佐藤莫ルヘモ、ナキ者、

25. (金)

✓ 千前十時頃、高峰史トニ會流算、付協議ス  
八万円、範用内、人件費、ナシ、相当、補  
加ナシ近ム  
之、宮川、大寺も同様、ナ前(ニスナム)、万五  
円、度ルマクハ毎ヶ月ナム、先増加、元氣負

十一月

ナ前ナハ御(ニスナム)トス、他ノ現状、塞ト心通立  
セテ、21-21.2  
九月内、待遇、他ノ助手選トモ、聲同等以ハ  
手ノ相談、ナ前四時、正午、駕神在、カム一晩  
今、既、更、高田御計ニ在、手ノ事、作ル21.2  
大原史、御食、ナ前半周御臨、月曜食數、ナ前今  
隔ト外上、洋銀負合、寄シコトス  
ナ5-6伊豆丸の取扱タ矣!  
ナ前 宮島御用史、根木の向火毛、ナ前夕食、  
駕走ナリ、十時辞ニラバ  
宮島史、高田史、ナ前、ナ前御商賈御会議、翻  
訳人梅、久我 Terasaburo 史、ヤリアルヤラ、モ  
ナ前アリ此故、ナ前ナキ、成川主次郎史、其  
狀、七八歳十八歳、ナ前アリ、ナ前アリコトス

26. (土)

✓ 千前 工場文書署、社前田耕作、高木、芳賀研究  
会設立、付顧問、名義、ナ前アリ、ナ前アリ  
野美御船ス

ナ前 山久史、大賀史、高峰鳴林、ナ前高田史、高

十一月

船子得ル一付の東、復讐書ヲ得ル旨ヲ送又  
下寺地御置、可能ルヤトテ至ル一甚之  
大林虎ノ内地及氣、皆大生近、大變御置、意ノ  
上、大半心計盡ラム、神助若ヒテ行、而古山林虎  
ヲ吉シメテ行ス

リニ高田虎、太立地御置、又大林山虎ニ  
ト疎九時旨送、又河内虎、太田虎ニ手傳、  
ヘナ高ト Bernstein, Voraussetzungen des Syntaktis  
論述ナスル(後)。

金食江食堂、諸丸、太政史、東京方面、  
運動選手、運動研究、監督養成及研究  
臨時監督セラ、高報告ス

リニ芸運会アリ「モーニング」大今、俊アリ

京都朝日水天宮未可来年四月二十日ニ至都  
ニ今暫、研友行事、行希望、行行心所、都合  
・毎週二日計、来ルトハ五支、ヒトヒトナリ  
全ノニ希望、草ハ才、止ト可一河上虎上通  
当、時期一切待、上決之口叶是ナリ、此、  
吾人又高田虎ニ傳ヘ才

大時段の高田虎、流美中人件費一付  
訓練、方針ヲ以テ御教、遂ニ望沖丸、文工  
全部、今年ノ一部既に一足、ニ度会即一張矣

十一月

山虎來、即期馬虎、御祝申、Humphrey, Labn Repre-  
sentation 912人社、御祝申、御祝申内全、14時行  
大島虎ニ相送スベシ、向山虎、御祝申便重  
行サクナヤラ注意ス  
金七時半支而 8.5 大及欲荒、鹿公、入ル

27. (月)

朝 8.00 丽村津著 十四厚壳、入ル

數日本太分被、ツリル休見ス

Jones, First Course in Statistics 37心讀  
後節百花元の本、是年一月二十日、二十日

二十一日申故一ル、見送ス

利一郎芸、快復中心ス

28. (月)

朝 遣義、牛筋、又朴土曜一日用空、廿乞、十時  
十一時半支而 11.50 十四厚壳、瓦 2.30 45福島  
瓦 3-5 大半遣義、11.00 半支

29. (大)

1997.9.20-11.40 马来西亚

## 图1—1 大禹治水

行氣主之氣運達氣機升健虛上氣不暢達，而  
抑人止火 5% 增，= 丰亨（立：以抑心火矣。每  
日兩調運知心火無害也：特：大畜 + 九四 +  
全旨：支抑）以心協之。

消失地圖書：付双才：「過去從沒失過一份地  
圖」付雙才：「我說錯了，付雙才：」

✓ 又成四郡吏、孝廉，以至州一郡守一中  
又大改支法設置，意志伸展，勢力山高水長，  
援助又不無泛泛，向來之半，以人所處，寧地又  
何往不可？

## 4. 先、后处理

太宰府に領主秋吉の内閣判官として上京。二月  
四月在豫之に心力取て越前守。佐賀西田虎  
・豫美守・主従送付。一月に中止。送入  
山喜元次郎左衛門・徳承。子は主一・才助・仕事  
了智郎。のちキヤウラ姓。

30. (水)

午前吉村五郎左衛門先生の会社、方正九十年  
改定改行地入銀分 三八二・又未開行、計八十

古事記

前二時坐公署)三号地用表院=丁田中太郎史母宣  
1等信行八八之列=廿四·四五

午後可食食北久松田宇野大島以降、猪史第  
北久松田迄。便銀酒食材料整理して、掛川  
板敷先アリ上半史、今月限り解約、外  
社田好太郎處佛國運動運動喫煙稿、上二  
月分支掛ハリセイ(在札アリ全限、車院ニ置)  
社会改革委員会大會半持チ車外一局敷先アリ 村田史  
ト譲渡皆中止ハシヘキ、切清アリ他二五公現之  
有アラタスナハハハハハハハハハハハハハ

北坡東の身、軍一歩スル 貸借小走り四月一延ハ  
以降猶才流転アリ 小人何時ニニ可ナリテ云々<sup>ノ</sup>  
北坡東一走り四月一、手も増加五計ヒ算入  
旨ノ若シ・率部隊ノ得オリ

大舅过去叫啥名字，件事情记得

大島忠一 担当者と東京 Labor Representation by  
Humphrey 高齢の女性の日本人社会の歴史、特に  
主に明治期 - これは、重複して

山名市 27年4月1日 印刷社、持持一  
接付、件、切清、此單今書、換持次外上  
→ 事→ハガキ

十一月

施田史、十一月及四月产量增加，收入增加  
宇治史产量减少一月的增加，收入增加产量增加得  
到吉史、元の本量增加得  
以藤史、一月的产量比产量增加，收入增加  
高田清德史来访施田史、支一夕食、支二  
八、请入食敷行而付于平清元川全、总付  
卫部精了望村、发生于领，一部、所、领  
算，可能、中、川全、手、领、领、川、领、其他  
班付施田史、大作，收高田史、十吨，收高田  
史、

雪边关道史、集美集正年一先取、高报引  
大岛史、左大田史一部、次位、河部秀助史、  
很介、

十二月

1. (木)

前9.20 - 11.40 理理

ソーリ、高田清特軒の金合、统计协会一行、山喜丸  
在、川、单屋の、实物トナリ、内毛  
清美、牛行

2. (金)

前十時、明勢院一行、十委員会、施田仁尾  
二史、大作、又、御寺、沙富史、久、大作、全八、三、トナリ  
本校、统计、付、壁向、金合、汉明勢院、生  
史、室、川、壁向、内、院、行、来、計画案、付、  
壁ス、カクテ、二時半、取会、院、白、便、車、施田史  
ト、同、事、申、收、川、史、一、坂、元、虎、碑、走、川、行、  
二、今、位、ア、文、代、案、付、会、の、川、年、大、至、  
行、

后3-5 清美、秋、川、毛、ス

✓ 大原氏今明日中、東京、諭定、カリ川、本日、壳報  
→ 四日大改、→ 今、川、本日、壳報、道、依、夕、虎、  
東、車、駆、行、川、壁、行、壁、

夕、大島史、未、行、空、收、川、け、う、毛、ス

母、ニ、カリ、川、け、う、毛、ス

十一月

3. (土)

朝技術協会、山喜英苗史来訪技術導入  
会議、建用件+)

難易度、處理人

✓ +林輝次郎昨夜から→深夜、旨報の何分中  
旨報(火)11.21+大改の高田史郎相談、上記事  
件+其件

Hokuei, Arakiyama=吸、併モ社会改造、  
後4

在四時過事割一部中田原の帰宅本人に至テ  
元氣臺心一郎人間の心の問題の登校へ心外心外  
島吉郎市長の心外+來因中学校停課、実習差違  
と依頼

午七時半左近 8.30 東京駅完 十時、JR東北  
川入

支那へ洋にヨリヤ成シメオウ 車運ハ無一アレヤウ

4. (日)

朝 国田朝太郎史公議 口史ハ車御:下車  
会 9.25 大改署+其件+元町-ステク

✓ 大原氏健策、換心車回復明朝十時:

十二月

而今、近づき電気の普及

却叶以精人血讀書會ア高田史郎特  
別行講演+場上より口史、以テ委員会等の四  
時過マニ 消費組合、委員会等の社会改良  
ト社會改造上、手進ニ得+ト行動社会  
改造の美、進行上之、尊ムルハカルト  
講、主ス

+の Hikaru, =吸 伊四方動運動、高  
橋義

夕方吉良「かたすラル意、底ニはシ重=行  
」己達、竹枝子切度ナリ祝儀、高麗セレ  
「サニ不似ナカ

5. (月)

✓ 午前 高田駕津二郎=九喜鉄道前会、計画ニ  
集會、丸尾、甲生、亮一以会場へ往スル+ス  
又成田史郎、吉良、以始終、計画打合ニ一次第  
行記ス

高田史郎+林輝次郎陳設引渡ス裏改築ハ既  
初稿スル+スル+本年秋流美工の東ノタタキ車  
21.11 調査費の支拂+スル、至此門牌流美工

十二月

東京カムバーストス

已年過幸大幸友会講演部長負重松金次郎  
木方今週木曜講演、都合よりかし今ハ來春  
トシノ都合スルトモ一解ニテモ事ハ

午後一時半高田史ト向道大原氏ヲ佐久木  
旅館ニテ、口氏病氣寒性リ今ノ東京一行ル、  
久しう、由ナリ

徐笑室ニ付大体説明ス別、要送ナキヤウナリセリ  
事ハ既判今後未可法、向、有為人ヲ優遇  
スルタニテハ勿可ト、意足ナリ全土回覧ニセ、  
意味ハ更行スヘシ事ス、詳説乞司能ロ  
打念ス

其他高田講師史、ト、會社、大學卒業生採用、  
トト記念会、二時頃碑ニシテ所ス

高田史太林東山名史ト芝、下幸叶、近酒井  
相談、高田史、事務、文人之本心の地  
久保、猪子、御遺言スル、一方ナルミ高ハ一大林史  
ト、下幸叶、廣り御走レラハト、意足ナリ高田  
發牛、トナヒ教矣

河西東、所、Riemann, Voraussetzungen des  
Sozialismus、空心翻訳、洋人、人間文化  
山名史ト、近々、大坂史、高時鳴杞、高ツリ

十二月

よりん坂 以降東ニヨリ、自方、吉政以外農藝化主  
ト利潤カツナ希望入所希望、高トナリ  
法吸所入機械置入六ツカツ高テ元ス  
向史、秋事付相談、行ひ、口史、而第二筋精九  
リ、注意度ス

ハルム、ト、賣ス

小鳥鉢也丸川神戸經濟今ハれハ講演、先代  
御車寄トハト色事ス、又统计平譯表ヘ所見、注  
解、得スルハ、リギルハラ皆ハト色事ス

6.(火)

✓ 山名史、請、ツ、口史、筆記、成ル工場委  
員制改、至スル講演ヲ校正ニ及スル、口  
史、改歴ス

午前、高田史森川史又内有史ト計商局、整  
理、付、即日送ス Elzbacher 及 Hasbach、品  
易ハ特別、印ナシ、柳橋、近ト、ソーテル  
久松、近ト、手引書、午蛇从心地入門、次  
到高川、總理、時時、當時、高川、總理、  
現在、販、ト、貿、人、居、獨、又、當時、代、支、ト、  
工程、進ム、ト、

十一月

末午从行美室了更行心一吸、增停)早九  
时八分

Merkin = 欧文口主吸了停

Japan Chronicle (weekly) Nov. 17. - 21.  
故 Murdoch 先生 (停) 读: 故人) 直想不

7. (水)

Merkin, Sombart 等了读 4

午前市立西野田成工学校長飯田吉二郎史  
本方未周講演, 依頼アリ不在中ハシマラシ  
ハシ

午後二時山崎薫吹矢來訪西時英、大庭、  
行田史、事子) 2 呼 5 分食了共 2 分

8. (木)

午後講演了等付ス

午一時遇河上肇史来訪, 室井平士の付  
(遇日東左)面会, 仁、大段高高(執政), 由、  
河上史上流又、八木松史、復而、社主(春田義)  
高田史、指掌(大根)ス

十一月

小林錦次史, 身上一缺水精) 静養, 没口史, 希  
望。仁又大段又一草部→仕事; セルヒー付=21. 21.  
此名史, ハハ口史, 希望通, 今一ト草部→21  
歳セルヒー付ス

施設・扶助口史未一早見行, ハハ毛此執筆  
スル高志ハ

午後二時講演了等付ス

午七時一九時半 講書令講演獨乙  
社会運動史(終)佛子, リ, 善良了達  
山名史専夕其榮東京へ赴カ

昨日夕東京(書在中)大原氏の午後温相接, 以高  
田同原二史行)故十一日講演(終)トモト, 電報アリ  
吉田近電尾知、旨申セヤ

9. (金)

一時口史八時=21. 21. 莊中, 高田史与之商所:  
✓ 小林錦次史, ハハの史是ア使被上行手次々數次  
静養, 錦口史, 希望トヨ上史, 是之上3月の心  
道立西一ト勤仕事→21. 21. 佐美主都→東、  
仕事→21. 21. 21. 21. 史, 高田史一通失スル  
21. 21.

十二月

今田十一郎君の富士、件の社会問題は、是の入資料  
蒐集及出、整理方針、調査の富士スル、事務局  
→送ルトス

Berlin, "Truth"; Redner R. -> 10月, 望  
而得之 Japan Chronicle (Kobe) 買ル  
The Socialist & Labour Movement in  
Japan - Japan Chronicle Weekly - 5月  
→送ルトス

下寺叶文地調査、案二付ハ高田史尚大林  
史上井合之室心外に之ヲ批判シテスルトス

元々神戸高高、小島、飯田、伊予、等諸所  
福岡敬太郎、主生草作、主所、近況、徳川又  
喜内、主生、仁川、主所、主地主ト、意味  
此の相談机、主地主高了矣

大朝記有體史東洋財消費組合、計一付送ス  
付4-6、伊豆瓦川主生教授文、  
11月、以故年入

河西史心高田史、復書乞借度、送、11月付送  
此の復書乞借度、アラマサトニテハナリ送ルトス

10. (土)

✓ 前所定、如可連中、件事、先行、付初清心  
送ル:

十二月

八木秋央、差ち、病氣欠勤中、車船分担部分、報  
告、立川、主クコトハ Hori、翻訳次ハ、北洋米酒、可  
上丸、精華、次クルコトハ、丸時、打合セ、隔週行  
カウニ、英時期、以全句、精華、ルコト、級貧組  
合及中流階級組合運動、調査スル(暫定)以  
河西史心、貨銀調査方法、既往、而、既不瓦  
故 H.W.S.W. 空ニ吹向会、本改正、中止ルトス  
瓦壁トオカト Bernstein, Voraussetzungen der  
Sozialismus、之ノ時、空ニ全令會讀本  
ニスルトス

人間史、消費組合、資料整理第2次、子野立  
志ニ、資料、集ム、主クコトハ、精華、ルコト、行動  
組合、大改訂版、正規版、調査分担(山名史、  
井吉浦)スルトス、且組合資料整理、空付スルトス  
Webb, Socialist Commonwealth、未回次=5月28日  
度、上決スルトス

林虎、小賣價、小賣價、其調査方法、調査  
レ替、付トス、是、H.W.S.W. 空ニ吹向、23-24、大  
安、接觸スルトス Sombart、翻訳次ハ、未着、  
全令會讀本ニスルトス、共商組合調査主要用  
之送スルトス

山村虎、四階分動令議、理選珠、文、

十二月

映像上実行、状況:付調査スルト 部門へ Burrough  
スル時々巡回、確定スルト

以上午一時半前半、費取 量虎以高田丸=大、内  
報い向太林丸川美文付録、高輪、ちい・叶  
物スル。日本及英軍丸田二丸へ、高田丸の  
相談決定スルトス

山川亞吉某所特別、用事ナシ

午後一時過付、幸運会アリ、水天丸之空部  
東川太林丸の公團調査、一筋、報告アツタル  
九隻又支拂之四時散々

夕食以付重々

本日河上丸の来林丸、一時正明海隊、  
軍・使節、矣アラゲルヤウリト、局了報レセキサハ  
ヒト高田丸ト相接、半周小噸の東車を一  
付ニテ、此に洋カ・様子、対応改善、改文スルト  
ヒト、由小林丸報ス、又河上丸、ニヒ、  
往過、商量、報ス

11. (日)

午前十一時、便高田隊、東車の東所相  
原八木二丸、食數、不在來今不能、旨嘉慶依テ

十二月

高田隊長若君、支工二人にて日本衛生付録、隔離二付  
協議又、支工皆は一般的意見、支拂又高田隊、總  
支拂方動科率年付録、方望ニ付、意見アリハ  
金川史、高平、船一差与リ、峰峻丸、帰朝ニ付、從前通  
付、支拂付、付付、ツルハニ付、一回トシテ可ルヘト  
亡、付拂付、付付、オエ付録、從來通、食數方面  
ニ付隔離スルト、材料、竟生、方動科率年付録、  
名川江川スルト、人手、室外材料、又社会事務要  
件、材料、其際スルト、事、度々  
午後二時過太原様、即ち未所以上協議、略里  
付、付、食數、今後及活動、支拂設計、付拂付、  
依頼スルト、總付、四時、便峰、サル

高田隊、總支拂付、午後六時半所、支拂付、向來  
付、付、付付、7.52 番、向付、支拂、入ル

12. (月)

前 6.44 丽村津島、八時、前十四原毛、入ル  
傳承高井氏夫人來行、使承、食傳、半食十五例  
ナ代、拂ヒオ

講義、學行付、11.50 十四原毛、上車申  
中、備瀬史、上車、今、付、使承

+ = 月

允了一大堆請義  
夕請義半價

13(火)

前 9.20 - 11.40 韩语 生活用语

后人对大字篆文，内存于《大篆》四势论。  
盖：要以古物为本，平直为正，转生草篆  
也。又以平直为正，大篆有一笔之连，二笔之  
丸毫，擦开健直，行气而变化代，以持叶之  
其，后支法一脉，合以纵之，其他书藉空入方木  
折枝之。

今朝太内夫人来訪 会弟、高士季様御用也  
辛夷、上經御科志望付其事、予焼、申合乃全最速  
模様於此、上此事又外々ス、口夫人、且今往候、  
家來ノ早ハ、實ニ故希望ナリ、ト森へ送アリ  
シテ、ナリ

$$+ = \text{乃}$$

14. (水)

✓ 久一時半川所友令子守)、梅田山名宇野大島故宮  
(以落未欠席), 諸史文部

金銀資料蒐集付宇野故古大島以降、西丸へ分  
担毛力>標

梅田虎，伊豆七島，唯歴史の研究者アリ太々有益ナ  
トキニ時故ニ

小林輝次郎 来所 実行 + 想像 2院隊 健  
徳上 24年 2月 1日 想像尚缺 = 異文化の分明な  
相接、結果年内八郎里=節製 来春 2月 27日  
從前、即ち何より尊貴、指掌、下=所元史、以次  
河上史、意即之手著心少失之 2月 21日 2月  
27日、其二ニテ野志、文工詩集 + 時評書

前苏联重工业部技术设计局  
1978年1月

成一印卖，儿时竟，加，

15. (木)

19.90 — 11.40 此，即生活必需品

「一ノ大至ニテ瓦室ニテ」上野忠一、  
「二ノ大至ニテ瓦室ニテ」上野忠一、事務

△ 例二時半、岐北次長来訪：上皇在、仕事午後  
中：（土上、延期、叶、村田）叶太郎在、仕事ハヤシ

+ = 11

ティカリスム、<sup>16</sup>高文、西・提支セシメ 今月而四ツ支  
院ニ 労働運動史、提支、候ヲ残額八十円、院ニ  
川流ト翻訳完成、上人二十円キト增加(候) 佐藤ケル  
羊諾又

讀書会八席費、21 佐野幸太、特別講演計画  
12月3日会々

社会政策季刊幹事後任付相手アリ 不擇止心地  
由ル仁、外ハ重臣如何ト知カズ

✓ 久文時種田聖呑教青写同盟奉手、22日=行  
リ讀書会、同窓会及地久史、讀書會會、会行  
会川是、撮影、以全、一時尙余独々、  
社会運動、次テ講演又以用毛又

16. (金)

午前、十時ケ心過ナ四執理、(7) + 喜  
会ナ、柳沢仁左二丸サ常大体、喜見了交換  
之役向27・材料、整一、右向喜見了提支又  
21、心虚反設敵会、而今尚於田奉ニ  
即事、生ト來ル南洋土人、樂作(尚チ)次ル  
ム3-5 大主導義

✓ ソ山名来來方、大變迫丸、打台、修理竹子

+ = 12

種子河口地台帳の帳簿作成ニシテ、切符引金、計  
算ナ差当、五種トニ一帳籍ナケル実験心外ニ申御  
・財28・元代式、之れカラト云々 又同史、生メル  
労働運動、同ル材料、先づ二万円=》實支ノルトヒ  
材料大吸、到着次第是ル21、又  
10史一月ニ22、地ノ才免過々而、竟ト安ニ引連  
シ行121、シル旨意引

夕未久夫人来訪望史、速→10月=+三日印人  
川事紙、由、ソ明後、以來ル外ナリ

17. (土)

午前 大内三法夫人来訪、△今後計画、家、21-14  
遇日賀求、送ア外故母ナル、越後來シタハナリ  
全八匹口直九足、味之又、ト是、一夫、向希望  
若、先コトニラサヘオカク、旨願(計)

宣傳以大主才ニ十二岁故童、行、社会政  
策季刊大氣、31号、ツナリ、而一時過向氣福  
田(東工史)又神田有一丸、實/翁制達、是  
ハ執事門支ニ中々實、アルニナリ、互時半既  
之、ソヨリ才4-仲後、ソノ後=》夕食、以計画

十一月

朝八全地アラ坐長トナ 大時アラ計議ス  
全ニテニカニハルアラ大時散会ス  
火事、前計入全負、地産3萬二十数石、入火ノ忍ス  
井戸故東氏アラ芦荒アラ大失コロテ、不仕主ア  
謝ニ亞坂川半二四、送ナラ依頼ニ來ル

18. (日)

午前未付五郎史來行參航、方傳接換支不食指  
心願ナラ依レモ、北山史、相傳心大段高難等、  
方面ハラ幸候、植葉ハラ向、揮ナ大改研瓦所、方  
報道アヘンカヘンモオ

午二時過エ十二寅、司会、社会政策室会大會  
チニ日、譲賓会、吉浦土方加太河部山内上田、  
諸氏、譲賓、少、午時卯会ス

ハラ内閣、ヨカリハラ交渉会、吉浦四十四計、  
ハラ盛會丁ナム、今辰役場設会、朝日、~~朝日~~  
全地アラ坐長ト勤ム

是、幹事改選議ス、福田史、荒謬、の幹事五名  
中二名、事大側コトス現任幹事之指名ズルトス  
其時里河津上野高畠阿部(秀助)玄井(盛之)五郎計  
任ム

次、木会、計議向後、清掃第一、左那、十代  
向題トシル、報告者ナ實業二三十八人、加ル

十二月

ト早、希望アラ幹事一批、成ル心配處アラス  
未ニテ入塔料微收、要議付合ニ及ス  
大火、四日塔計土ハ幹事一任  
大火委員中地方委作ハ、既前、任ヒテ之ト幹事ヲ加  
一若干名幹事一任、指名ズルマス  
福田史アラ草レ一頓生的及勅告室、邊博津政府  
筋アラ賛共、賛スハ、旨賛行義アラ成立、上田貢吹節  
河津通、二虎一起率、佐野乙吉末、上々令会  
侍、意足、叩ナ整成、ハハ、有志アラ望共、是  
スルマス

カラ大時散会ス

19. (月)

過日本上計、叶・付心配ニ付ル全ニテ年賀ノ事  
慶ニサ及東上相談、上暫引其直、手傳東ナス  
ハニテ逃レズトトニ今朝モツ、太、坂ノ傳、水曜  
セ賀大段アラホヘソ、立原田夫四、吉松ノリ

本日、社会政策室会、就院日アラ拂田、活動室  
更換算所、現ル役ナム、全、建日、用務ヲ乞付  
ハシ、行カスモ、用ケル、用務ヲ处理ス又ナ  
ハ譲賓、早苗ナム

+ = 月

后云時過多矣 7.20 分東車駛完 向277麻公  
入

20. (大)

前 8.30 大改駅駅直4-3行瓦行入八  
✓ 嘉吉会議演，半成343  
高田史、小林輝次史、塙洋輔主，岩山  
平吉、十二月分、十五日一月乃至二月、五十回  
（其後）河上史エト相行，上史之スルマニ

21. (水)

午後六時半頃、東京の新宿駅へ向  
けた電車で、

十 = 月

22. (木)

清涼，半付，十又

✓ 高田森川二東上篇書所賀使や松久の間で五  
冊以内に毎月一日、送却されたり。重九是十枚  
山名史トナニヤ古賀史、田畠事談資料ハ二百  
五十四→重入ル。日本史一直ヤニ送金又ル。次  
年四月リテ工缺ニ至ルト高田史賀ナ更地諸氏  
へ礼物、整一ソレ人贈呈ス  
仁七時ヨリ讀書会、佛國社會運動大草  
講、(先リ、全体ニ至ルル講論ヲ述ヘ、九時半迄)  
ノ、同窓会、件一日近心商、來春一月集会次  
之、又ルト心散会

這一等級食數原由史川來定 壯士安量 數  
之先

23. (金)

✓ 異議：有關之其他研究的，要如何解釋？

計工賃=ヤリ 食費才面、礼物贈物及  
叶上へ、礼物ヲ整へし又完鳥丸3月4日  
午4-6 伊藤上京支那銀行取扱フ更  
タヨリ付ヒ九度ニ鳥村理食以

+ = 11

はり重=11月26日

明治20年正月、奈良今川屋、又松特  
別福)ト+「大草喰成」ニゲルニ、差しむ

24. (土)

朝6時起牀 7時半西行カツヨリト後、大陸  
駅、(1) 加川丸、荷物、持氣に登ノ八時二十分  
是后一時倉敷署、隸文カリハの時刻、次第小今  
「既止」全候ナム 8.50 航、車

車中、Kautzky, Vergangenheit & Zukunft  
der Internationale 傳: 又倉敷竹原工事  
延社役員收調查、車ノ見意見之

ナフ在 2.50 値敷易宇野丸一郎丸及原田  
昌平丸足川丸、原田丸丸、(1) 井上及幸、千岁、  
無事太夫+川圓山、母上ニ來けられ

原田丸、宇野丸、(1) 礼物、三ノ金、途中  
の井上、(1) 送心丸、下傳ヒサ母上、心配ト墨  
入、(1) 送、且同人身上二付叶ヒニ相候ニ而  
虎ノ類計リ

電往ノ倉本左近、中通ノ也九路軍橋本富二郎  
丸、春川清音丸、(1) 工事延社役員收調查、大  
丸、(1) 木村トナカルト成ルヘリ調査事項ヲケル、

+ = 11

主意)、(2) 意見)達ノ内一時向、十時半カハ

カハナリヲ成ル原田丸及宇野丸、先送シ  
ル 6.04 全敷易航、圓山、7.00 航、急行、東京工  
事、次席共、入ル

25. (日)

車中、Kautzky + フラント、(1) 12.30  
竹橋、(1) 下車、用達、(1) 有、(1) 帽毛ス

26. (月)

朝十時退車十時工人3件、(1) 大手  
立寄、(1) 修理、(1) 支拂、(1) 銀生清軒  
車、(1) 行十、(1) 宿、(1) Weihrauch、(1) nachfuer  
統計局、(1) 立寄、(1) 有木室、(1) 礼物、(1)  
物、(1) 十時度、(1) 売車、(1) 帽毛セシメ  
大久保百人町、大内大人、(1) 11月、蓋、(1) 11  
月11日大人朱印、夫人、現住毛又、(1) 11月、(1)  
貨、(1) ケレル成ルヘリ、(1) 11月、(1) 11月、(1)

+ = 月

28. (水)

朝 8.30 大政歌謡 直<sup>レ</sup>行<sup>ス</sup>行<sup>ス</sup>行<sup>ス</sup>  
四<sup>タ</sup>史<sup>シ</sup>數<sup>シ</sup>前<sup>ミ</sup>大人<sup>ト</sup>其<sup>ノ</sup>末<sup>ニ</sup>中<sup>ハ</sup>宇<sup>ニ</sup>野<sup>ヒ</sup>史<sup>シ</sup>  
所<sup>内</sup>へ、室<sup>内</sup>八<sup>カ</sup>細<sup>シ</sup>史<sup>シ</sup>極<sup>ム</sup> ウラの丸<sup>ハ</sup>二<sup>丁</sup>邊<sup>ス</sup>  
食<sup>シ</sup>取<sup>リ</sup>行<sup>ハ</sup>一<sup>丁</sup>計<sup>シ</sup>也<sup>ル</sup>

午<sup>後</sup>二<sup>時</sup>行<sup>ハ</sup>行<sup>ハ</sup>行<sup>ハ</sup>氣<sup>ヲ</sup>引<sup>ク</sup> 大臣 柳原 未<sup>田</sup>  
十<sup>所</sup>、四<sup>方</sup>を<sup>サ</sup>尋<sup>カ</sup>立<sup>シ</sup>史<sup>シ</sup>病<sup>シ</sup>、身<sup>ヲ</sup>欠<sup>ケ</sup>所<sup>内</sup>大<sup>人</sup>  
入<sup>シ</sup>立<sup>シ</sup>也<sup>ル</sup>、笑<sup>カ</sup>立<sup>シ</sup>大臣<sup>ト</sup>、事<sup>ヲ</sup>詮<sup>シ</sup>欠<sup>ケ</sup>  
失<sup>フ</sup>高<sup>田</sup>史<sup>シ</sup>の過<sup>ミ</sup>一<sup>丁</sup>向<sup>く</sup>、机<sup>上</sup>所<sup>人</sup>事<sup>上</sup>、  
運動<sup>シ</sup>書<sup>類</sup>物<sup>(紙)</sup>、印<sup>刷</sup>中<sup>、</sup>草<sup>稿</sup>文<sup>(手)</sup>  
三<sup>回</sup>、而<sup>後</sup>仕事<sup>ヲ</sup>讀<sup>シ</sup>書<sup>き</sup>立<sup>シ</sup>達<sup>シ</sup>、  
金<sup>ノ</sup>文<sup>ノ</sup>浦<sup>ノ</sup>市<sup>ノ</sup>船<sup>ノ</sup>通<sup>ス</sup>、仕事<sup>ヲ</sup>達<sup>シ</sup>、  
次<sup>々</sup>、錦<sup>織</sup>車<sup>ノ</sup>高<sup>田</sup>史<sup>シ</sup>の返<sup>事</sup>引<sup>ク</sup>墨<sup>絵</sup>ノ<sup>ク</sup>  
可<sup>決</sup>確<sup>定</sup>、丰田史<sup>シ</sup>車<sup>ノ</sup>行<sup>ス</sup>、机<sup>上</sup>外<sup>面</sup>  
面<sup>接</sup>、立<sup>シ</sup>北<sup>西</sup>而<sup>後</sup>立<sup>シ</sup>置<sup>ク</sup>、可<sup>ル</sup>へ<sup>テ</sup>后<sup>ノ</sup>、後<sup>ノ</sup>  
ノ<sup>ク</sup>青<sup>色</sup>跡<sup>ノ</sup>立<sup>シ</sup>也<sup>ス</sup>

梅<sup>ノ</sup>山<sup>ノ</sup>山<sup>ノ</sup>北<sup>東</sup>、所<sup>在</sup>處<sup>ヲ</sup>詳<sup>シ</sup>之<sup>ヲ</sup>草<sup>稿</sup>  
う<sup>シ</sup>手<sup>ノ</sup>

柳原史<sup>シ</sup>の運動<sup>シ</sup>方<sup>法</sup>別<sup>シ</sup>に<sup>テ</sup>引<sup>ク</sup>、希望<sup>シ</sup>  
了<sup>シ</sup>其<sup>ノ</sup>歌<sup>詞</sup>引<sup>ク</sup>、其<sup>ノ</sup>處<sup>ヲ</sup>立<sup>シ</sup>也<sup>ス</sup>  
か<sup>テ</sup>五<sup>時</sup>頃<sup>モ</sup>、午<sup>後</sup>三<sup>時</sup>又<sup>十</sup>分<sup>ヒ</sup>史<sup>シ</sup>、  
可<sup>能</sup>幸<sup>ヒ</sup>大臣 柳原 未<sup>田</sup>、五<sup>時</sup>事<sup>ヲ</sup>詳<sup>シ</sup>其<sup>ノ</sup>來<sup>ス</sup>

+ = 月

田<sup>中</sup>、六<sup>時</sup>過<sup>ミ</sup>野<sup>原</sup>

河<sup>内</sup>河<sup>内</sup>二<sup>丸</sup>、六<sup>時</sup>過<sup>ミ</sup>西<sup>野</sup>心<sup>事</sup>退<sup>ス</sup>  
成<sup>ル</sup>也<sup>ス</sup>

カ<sup>テ</sup>用<sup>事</sup>立<sup>シ</sup>リ<sup>ハ</sup>七<sup>時</sup>半<sup>時</sup>、カ<sup>テ</sup>未<sup>ハ</sup>  
時<sup>三</sup>十三<sup>分</sup>、太<sup>政</sup>歌<sup>詞</sup>、舟<sup>出</sup>、人<sup>ノ</sup>使<sup>ハ</sup>  
外<sup>身</sup>侍<sup>、</sup>横<sup>リ</sup>

十一月

29. (木)

朝氣車中=ニ社会正規研修+二月号の讀書ト入  
力=9.40 手稿=下車用意、以便毛子  
夕方の運動部処理

30. (金)

先日運動部処理又運動部保健生活課会主  
川島晴收入アドバイス和田哲先生等と会議  
有交渉、支拂等一切、勘定に沿り

保健生活課会主、報告本一覧(運動部  
來の内務省の例)等

事務機関及夫婦連携(即ち病院登録)、  
礼物、持参セシム之件、第一回病院見舞、  
私一切既終

✓ 今後行本3種)一時半程度失つた人社  
物、支拂うと又行本所持物、2月号の向  
東の主な最大即席運動法規大綱=は原良の法ア  
リル由り返口直接行本貰うのみ  
ノル銀座の事務室の新居等及日記用、一  
丁目号3實大、后4.25 東京駅前 夕七時

十一月

過十四車暮乞入ル第ノヨリハ次ス

31. (土)

午前状況  
午後物語の記述+3=夕晴道27-  
暮2

此多事ナリ心大ニテトヨル道ル一方ハ  
叶上、婚姻統計表=中心にてト一其ニ地方ハ  
計一部、重病等、ナ心配ナルアリ但ナ母上ニ  
健津保有一事ニ無事年々無事ナリ心  
慰ムハシル而モ所、方ニ済ム事草略然  
ケル、感門明テ努力一途セ-

Letter

○八月十八日

○大正十九年四月高味文額 6570 円

○大正十九年修理主枝彌美喜傳因又テ高味中  
元城款也

○十月四日より久一郎 チカスニ就り而辻病院入院

○十一月九日退院

○十二月二十二日原田昌平先生向恢子先生

四/三 开古故吏のり

" 山久美野史のり

" 杜田リツセ史のり

四/四 矢作主志史のり

" 前田吉祐史のり

" 早开立清之史のり

" 竹内清二史のり

" 久保向敷造史のり

四/五 久保向史のり

" 久保向史のり

" 小坂城史のり

" 小田昌二史のり

四/六 竹内清二史のり

" 大正伟武史のり

" 関良批史のり

四/七 齐田氏志史のり

四/八 原田昌平史のり

四/九 大吹清之史のり

" 久野豊二史のり

" 岩崎義等史のり

" 岩崎義等史のり

四/十 久野昌次史のり

七月二日 柳原政一史へ

" 小生洋大人へ

" 小坂城史へ

" 大吹清之史へ

" 开古久史へ

" 清考亮史へ(電報)

" 竹内清二史へ

" 杜田リツセ史へ

" 福島支正史へ

" 川上寛之史へ

" 小坂七之史へ

" 四中福造史へ

" 花田大重亨史へ

" 柳原保史へ

" 久保向史へ

" 柳田史へ

" 齐介史へ

" 大内史へ

" 大吹清之郎史へ

" 大正伟武史へ

" 宮金社吉史へ

" 原田昌平史へ

Letters

|                 |                        |                   |                 |
|-----------------|------------------------|-------------------|-----------------|
| VII/15 河上肇史 口   | VII/8 二野豊太郎史 一         | VII/8 宇野和一郎史 口    | VII/4 小笠原史 一    |
| VII/16 松村勘一郎史 口 | " 長元川善次郎史 一            | VII/9 桃田史 口       | " 球理森山又平史 一     |
| VII/18 大曾清三郎史 口 | VII/10 松村吉一郎史 一        | VII/10 高田慎良史 口    | " 桃田保之助史 一      |
| VII/14 川上寛二郎史 口 | VII/13 今西十一郎史 一        | " 山久美鶴史 口         | " 村田好太郎史 一      |
| VII/16 田中千石城史 口 | VII/14 开次松史 一          | VII/14 小林輝次史 口    | " 小林輝次史 一       |
| " 大曾进史 口        | VII/15 桃田保之助史 一        | VII/16 八木次喜次史 口   | VII/15 田中吉郎史 一  |
| VII/20 山久史 口    | VII/29 犀川金作次史 一        | VII/9 久留向寅造史 口    | " 河上肇史 一        |
| " 菊池久平史 口       | " 花園芳夫史 一              | VII/21 田代良二史 口    | VII/19 大島秀雄史 一  |
| " 今西十一郎史 口      | " 大曾进史 一               | VII/13 伊藤与市史 口    | VII/23 小林黄利史 一  |
| VII/21 玉田正信久史 口 | VII/31 原田寅太郎史 一        | " 竹内謙二史 口         | VII/24 七乃竹次史 一  |
| " 神川彦祐史 口       | VII/1 行徳人瑞进史 一         | " 三浦峻美等史大史 口      | " 佐竹健造史 一       |
| VII/20 花園芳夫史 口  | " 戮吉道顺史 一              | " 久留行次史 口         | " 一井貴美子女史 一     |
| " 大曾久晴太郎史 口     | " 八木次喜次史 一             | VII/19 原田昌平史 口    | VII/27 原田昌平史 一  |
| VII/30 越智道順史 口  | " 下村善史 一               | " 牧山清史 口          | " 山本四次史 一       |
| VII/27 桃田好太郎史 口 | " 松原鑑一史 一              | " 二野豊太郎史 口        | VII/28 开山又上师上 一 |
| VII/29 田代良二史 口  | VII/2 Prof. Wilbrand ~ | VII/20 久留弓太内年吉史 口 | " 开山故惠史 一       |
| VII/2 桃田史 口     | VII/2 山喜宣次郎史 一         | VII/21 开山师上 一     | " 伊藤与市史 一       |
| VII/27 森川院太史 口  | VII/1 戮吉道顺史 一          | VII/24 七乃竹次史 口    | " 竹内謙二史 一       |
| VII/1 今西十一郎史 口  | VII/3 高田慎良史 一          | " 大内安吉史 口         | " 牧山清史 一        |
| VII/2 田代昌平史 口   | " 开山又上师民男史 一           | VII/16 开去故惠史 口    | " 二野豊太郎史 一      |
| VII/3 开山又上 一    | " 桃田昌平 一               | " 佐竹健造史 口         | " 田代良二史 一       |
| VII/4 原田昌平史 口   | VII/4 戮吉道顺史 一          | " 一井貴美子女史 口       | " 奈须素丸史 一       |

VIII/27 大島秀雄史の

VIII/28 西田慎亮史の

" 故古道歴史の

" 西島洋吉史の

VIII/29 开山民男史の

VIII/30 江藤市丸史の

VIII/30 田中太郎史の

" 山岸景次郎史の

VIII/35 久留山久之史の

VIII/29 竹田正道史の

VIII/30 久留向史の

" 下田良二史の

IX/1 佐々木幸史の

IX/2 山岸義勝史の

/3 田川嘉文史の

/6 八木政美吹史の

/9 雲辺義道史の

" 地田玉代女史の

110 宮島彌男史の

111 故古史の

114 山名史の

115 久留向史母上史の

VIII/28 高田博美史の

" 故古道歴史の

" 大内吉雄史の

" 久留向鶴造史の

" 北村利次郎史の

" 大島秀雄史の

VIII/31 田中太郎史の(舊)

" 山岸景次郎史の

IX/1 久留山久之史の

" 竹田正道史の

/2 桂木保重史の

" 大内吉雄史の

" 森下良男史の

" 山名義勝史の

/10 雲辺義道史の

/11 雲原吉志史の

/14 小寺信文吹史の

" 高田陽徳史の

" 久留向鶴造史の

/15 桂田久之史の

" 八木政美吹史の

" 田川嘉文史の

VIII/16 故古道歴史の

" 原田夫婦の

/19 田中太郎史の

/20 幸辰久平史の

" 山名史の

" 山村義史の

" 沢上翠史の

" 井上久之の

" 大内吉雄史の

" 桂田民吉史の

/22 久留向鶴造史の

" 德承史の

/19 大橋和恭史の

/26 上野道輔史の

/1 " 山岸一雄史の

/27 田川嘉文史の

" 竹田岸丈人の

" 三好豊吉史の

/29 原田昌平史の

" 森下良男史の

/30 久留向史の

/2 幸辰久平史の

VIII/15 大橋和恭史の

" 故古道歴史の

" 大島秀雄史の

" 沢上翠史の

" 地川義次郎史の

/16 原田昌平夫婦の

/20 田中太郎史の

" 德承史の

/21 井上久之の

/24 久留向鶴造史の

" 田中太郎史の

" 沢上翠史の

/25 成田四郎史の

" 原田昌平夫婦の

" 滝承史の

/27 田川嘉文史の

" 桂田久之史の

/29 大橋和恭史の

" 故古道歴史の

/30 田川嘉文史の

/1 竹田人子の送史の

/4 久留向史の

/5 原田昌平屠牛上史の

10/2 桂田氏在史 29  
 10/3 " " "  
 10/4 沢川義文史 29  
 1/7 高田十枝史 29  
 " 堀津翠美史 29  
 1/8 原田昌平史 29  
 .. 沢田吉一郎史 29  
 .. 萩原武郎史 29  
 .. 佐田久上史 29  
 .. 佐野弘一郎史 29  
 .. 久川加壽史 29  
 1/9 高田重美史 29  
 草田和也史 29  
 .. 吉田清流史 29  
 1/11 桂田善史 29  
 .. 大庭城喜平次史 29  
 .. 大林義経史 29  
 1/12 森川院夫史 29  
 .. 藤田吉太郎史 29  
 .. 山善朝彦史 29  
 .. 桂田幸二郎史 29  
 4/2 内村吉郎史 29

1% 特殊美術史  
.. 高田壇美史

|      |             |
|------|-------------|
| 1/6  | 越後道川原東口     |
| 1/13 | 越後道川原東口     |
| 1/15 | 新潟市東口       |
| 1/16 | 富島西口        |
| 1/18 | 井山之上口       |
| 1/18 | 長岡市平野上口     |
| "    | 加賀郡喜云東口     |
| "    | 水谷長崎東口      |
| 1/19 | 伊左木市東口      |
| 1/20 | 高田復興東口      |
| "    | 竹内道二東口      |
| 1/21 | 厚田町下口       |
| "    | 峰岸鉄工東口      |
| "    | 辰巳加賀東口      |
| 1/22 | 大内馬場東口      |
| "    | 高田復興東口(高田)  |
| "    | 今里(今里)一丁目東口 |
| "    | 安政武郎東口      |
| "    | 井山之上口       |
| 1/23 | 越後吉野東口      |
| "    | 高田復興東口      |
| 1/24 | 森久支人東口      |

1/24 开山又上 29  
 1/25 亨达孙一郎次 29  
 1/26 不开大→大人 29  
 1/27 河底庄造史 29  
 1/28 高田脚德史 29  
 .. 截古道顺史 29  
 1/29 善田二郎史 29  
 1/30 善人孙子母史 29  
 1/31 河上津史 29  
 1/32 小见山富士史 29  
 1/33 品川安吉史 29  
 .. 开山师上 29  
 .. 善田昌平史 29  
 1/1 植田村太郎史 29  
 1/2 开山又上 29  
 .. 高田彦史 29  
 1/3 八木松尾次史 29  
 .. 竹内谦二史 29  
 .. 高田俊次 29  
 1/4 不开盐去史 29  
 .. 久留向大助 29  
 .. 四川船之助史 29

|      |        |      |        |
|------|--------|------|--------|
| 1/7  | 平田昌平史  | 1/7  | 大内吉宗夫人 |
| 1/8  | 田中松之介史 | "    | 桂田昌吉   |
| "    | 开山久上   | "    | "      |
| "    | 石井たつ女史 | "    | 平田昌平史  |
| 1/4  | 大内昌吉史  | "    | 大内道二史  |
| 1/6  | 清瀬武郎史  | 1/9  | 开山久上   |
| 1/8  | 河上早史   | "    | 平田昌平史  |
| 1/9  | 山岸一姫史  | "    | 室生代策史  |
| 1/10 | 河上早史   | "    | 石井たつ女史 |
| 1/6  | 伊藤朱造史  | 1/16 | 寺中繁翁史  |
| 1/9  | 高田清徳史  | 1/18 | 大内昌吉夫人 |
| 1/11 | 室生代策史  | 1/20 | 室生川峰史  |
| 1/15 | 平田昌平上  | "    | 高田清徳史  |
| "    | 清水博史   | "    | 平田昌平上  |
| 1/14 | 古市春彦史  | "    | 山岸一姫史  |
| 1/18 | 寺津繁美史  | "    | "      |
| 1/19 | 細川嘉六史  | "    | 河上早史   |
| "    | 入佐莲志史  | 1/23 | 入佐莲志史  |
| "    | 平田辰次史  | 1/26 | 高岛畠男史  |
| 1/23 | 菱木力子女史 | 1/29 | 高田清徳史  |
| 1/24 | 土林輝政史  | "    | 桂川清夫史  |
| 1/25 | 佐田口史   | "    | 山岸善勝史  |

11/24 入江達吉史 ノ

11/25 桂田民吉史 ノ

.. 森下辰四郎史 ノ

.. 大内半蔵夫人 ノ

.. 前田晋松史 ノ

11/27 前田清政史 ノ

11/28 大内三郎松人 ノ

11/29 大内信太人 ノ

11/30 大内輝政史 ノ

.. 雪迎美道夫 ノ

12/1 大林定安政史 ノ

.. 森川達夫史 ノ

.. 山名義時史 ノ

.. 前田信重史 ノ

12/3 山文史 ノ

11/20 小島信也史 ノ

12/2 宝島源四郎史 ノ

12/3 宝島史 ノ

12/7 大原平介史 ノ

12/8 原田昌平史 ノ

12/6 Rudner 夫 ノ

11/25 吉川清流史 ノ

.. 小林輝次史 ノ

.. 永山嘉一史 ノ

.. 陶山辰兩史 ノ

.. 丹山久之助 ノ

.. 大内夫人 ノ

.. 原田昌平史 ノ

12/5 小島信也史 ノ

12/8 大原平介史 ノ

12/9 加川嘉六史 ノ

.. 宝島源四郎史 ノ

.. 小林輝次史 ノ

.. 河上肇史 ノ

12/11 小田直昌史 ノ

.. 古市春彦史 ノ

.. 前田昌平史 ノ

.. 雪迎美道夫 ノ

.. 前田信重史 ノ

.. 山文史 ノ

12/19 原田昌平史 ノ

.. 吉川清音史 ノ

12/24 吉村正市史 ノ

.. 大原平介史 ノ

12/30 吉野通夫 ノ

.. 川口寛二史 ノ

12/9 吉村忠一史 ノ

.. 原田昌平 ノ

12/15 小田直昌史 ノ

12/16 河上肇史 ノ

12/13 北畠行貞守史 ノ

12/11 大内夫人 ノ

12/12 前田昌平史 ノ

12/14 大内信太人 ノ

12/15 大内夫人 ノ

12/17 开吉政志 ノ

12/19 崇木丈人 ノ

.. 村田五郎右エ史 ノ

.. 生地竹之助史 ノ

12/9 吉村忠一史 ノ

12/10 大内信二史 ノ

12/11 崇木丈人 ノ

12/13 福田与之二郎史 ノ

.. 田川嘉六史 ノ

12/16 小田直昌史 ノ

.. 吉川清音史 ノ

12/17 吉村忠一史 ノ

.. 崇木忠一史 ノ

七月

|       |          |       |              |        |
|-------|----------|-------|--------------|--------|
| 12/20 | 松田氏共支 29 | 9-15. | 行旅所用旅費       | 36.78  |
| "     | 久乃向支 29  | 15.   | 恩賜           | 303.50 |
| 12/23 | 大内至信支 29 | "     | 中國民族文化社      | 5.00   |
| "     | 吉村正郎支 29 | 22    | 行旅所用         | 391.00 |
| "     | 香川清香支 29 | 23    | 大季           | 74.99  |
| "     | 原田洋上 29  | "     | 經理           | 115.00 |
| 12/21 | 橋本善助支 29 | 25    | 東京市社會局 29 付託 | 20.00  |
| "     | 暉峰若等支 29 | 31    | 中國易書館 29 礼   | 70.00  |
| "     | 松田支 29   |       |              |        |
| "     | 久乃向支 29  | 1.    | 母上一盒 礼       | 25.00  |
| "     | 大内支 29   | 1.    | 妻一 "         | 25.00  |
| "     | 森敷樹支 29  | 1.    | 子一 "         | 10.00  |
| 12/23 | 原田洋上 29  | 2     | 東京市厚生復大一 42  | 10.10  |
| 12/24 | 原田昌平支 29 | "     | Whisky       | 2.70   |
| "     | 井山 29    | "     | 臺車兩隻 1/2     | 1.50   |
| "     | 坂吉益枝支 29 | 5     | 大差之火鍋代支拂     | 32.35  |
| 12/26 | 河上望太 29  | "     | 坂吉益枝作法史記定食室付 | 10.00  |
| "     | 竹内道二太 29 | 7     | 行旅所用食費       | 3.00   |
| 12/27 | 小島敏也支 29 | 8     | 伊藤静江一月分 礼    | 15.00  |
| "     | 福馬常造支 29 | "     | 養育院寄付        | 20.00  |
| "     | 七瀬千鶴支 29 | "     | 堀川史夫入院款待料    | 1.55   |
| "     | 原田昌平支 29 | "     | 大段人美一箱代      | 1.10   |
| 10/20 | 松田支 29   |       |              |        |

六

月

|       |                   |        |       |             |       |
|-------|-------------------|--------|-------|-------------|-------|
| 13.   | 母の支拂一盒込付          | 5.00   | 30.   | 神奈行費        | 15.10 |
| 16.   | 御茶所置場会入費          | 3.00   | 31.   | 伊東上戸丸一月附    | 15.00 |
| "     | 電車回数券             | 1.50   | "     | 大錢四枚紙袋大主教支拂 | 5.50  |
| "     | 夏帽子               | 1.15~  | "     | 枝子社八郎       | 1.00  |
| 5-14. | 大坂川旅費             | 36.48  | "     | 巴荷提客八郎      | .60   |
| 17.   | 小田原往復旅費           | 4.42   | "     | 十四至元計費      | 83.27 |
| 19.   | Whisky            | 2.70   | 26-10 | 大坂旅費        | 30.25 |
| 20.   | 内川一土4枚宮代          | 2.00   |       |             |       |
| "     | 散養盒込付支            | 3.00   |       |             |       |
| 21.   | 矢作丸一月別當代          | 15.80  |       |             |       |
| "     | 小田原丸一月別當代         | 9.30   |       |             |       |
| 22.   | アカリノ大約            | 3.00   |       |             |       |
| 23.   | 母ニ                | 200.00 |       |             |       |
| "     | 妻ニ                | 30.00  |       |             |       |
| "     | 夫リニ               | 5.00   |       |             |       |
| 23.   | 小田原一旅支の待費<br>2.00 | 16.30  |       |             |       |
| "     | 小田原土産<br>2.00     | 8.00   |       |             |       |
| 24.   | 开支取支込一盒込ト         | 10.00  |       |             |       |
| 27.   | 峰崎支拂待費            | 11.50  |       |             |       |
| "     | 44" 27.7          | 1.10   |       |             |       |
| "     | 大坂電車回数券           | 1.00   |       |             |       |
| 28.   | Whisky            | 3.50   |       |             |       |

七

月

|       |             |       |
|-------|-------------|-------|
| 30.   | 神奈行費        | 15.10 |
| 31.   | 伊東上戸丸一月附    | 15.00 |
| "     | 大錢四枚紙袋大主教支拂 | 5.50  |
| "     | 枝子社八郎       | 1.00  |
| "     | 巴荷提客八郎      | .60   |
| 26-10 | 十四至元計費      | 83.27 |
|       | 大坂旅費        | 30.25 |

## 八月

|        |              |        |
|--------|--------------|--------|
| 20.    | 20元          | 39.00  |
| 22.    | 3元           | 60.46  |
| 25.    | 25元          | 115.00 |
| "      | 大王           | 74.99  |
|        |              |        |
| 1.     | 行乞饭费         | 2.40   |
| 4.     | 下厨及买菜        | 1.78   |
| 5.     | 司机及执行费       | 64.35  |
| 8.     | 汽油及烟酒及伙食费    | 5.00   |
| 11.    | 小田原至往復火车票    | 4.42   |
| 15.    | 小田原至车票       | 2.28   |
| 18.    | Whiskey      | 3.50   |
| 20-21. | 小枝叶费         | 15.00  |
| 16-23. | 大枝叶山费        | 32.36  |
| 22.    | 大枝叶车回数       | 1.00   |
| "      | 小田原~札幌的来回计程费 | 6.00   |
| 23.    | 小木柴到家~神户     | 10.00  |
| 24.    | 束车壳车回数       | 1.50   |
| 26.    | 车人           | 30.00  |

20-150

2-50

11-80

15-30

24-150

## 八月

|      |                          |        |
|------|--------------------------|--------|
| 24.  | 上 - 120 - 旅行费            | 140.00 |
| "    | "                        | 7.00   |
| 27.  | 山本庄二郎氏旅支票                | 5.00   |
| 30.  | 小田原川上猪费                  | 17.40  |
| 31.  | 大田原市计费及饭费                | 178.26 |
| "    | 水费~水费                    | .50    |
| "    | 总计归个人费                   | 1.50   |
| "    | 人生年保険                    | 9.38   |
| "    | 章子 " " 7.24<br>2.12+2.12 | 11.48  |
| "    | 吧荷归个人费                   | .60    |
| "    | 木又先生手                    | 1.00   |
| 31-4 | 大坂り北费                    | 30.11  |
| 11.  | 高木 夫女~水费                 | 4.00   |
| "    | 山上水田地~地主手                | 2.00   |

20-150

2-50

11-80

15-30

九 月

|       |             |        |
|-------|-------------|--------|
| 6.    | 圓盤機器費       | 100.00 |
| 17.   | 行旅費         | 32.11  |
| 22.   | 麥草加農中央公司    | 60.00  |
| "     | 行旅費         | 391.00 |
|       | 大車          | 74.99  |
|       | 酒           | 90.00  |
| 20.   | 行旅費的稅費      | 32.61  |
|       |             |        |
| 1.    | 行旅費食費       | 3.20   |
| 6.    | Whisky      | 2.70   |
| "     | 散裝白蘭地酒      | 1.00   |
| 9.    | 車票車票回數      | 1.50   |
| 9.    | Whisky (宋立) | 2.70   |
| 13.   | Whisky (大江) | 3.50   |
| 14.   | 山本化之助一吉寧    | 5.00   |
| "     | 金酒及威士忌酒     | 5.00   |
| 11.   | 十四座往復車票     | 4.42   |
| 12-18 | 大錢小錢費       | 32.61  |
| 22.   | Whisky      | 4.60   |
| 23.   | 紅茶二磅        | 1.70   |
| "     | 茶           | 30.00  |
| 22.   | 行旅稅         | 81.37  |

11. 飲水費 50.-

25. " 30.-

22. 70-

九 月

|     |             |        |
|-----|-------------|--------|
| 22. | 東京電車回數      | 1.50   |
| 25. | 上           | 195.00 |
| "   | 下           | 5.00   |
| "   | 九美、支那代      | 2.14   |
|     | 大錢九美、支那代    | 1.90   |
|     | 大錢大錢零、支那代   | 4.30   |
|     | Whisky (大江) | 0.50   |
|     | 日本酒、洋酒      | 15.00  |
|     | 大錢車票回數      | 1.00   |
|     | 大錢行旅費       | .68    |
|     | 三茶、心計       | .50    |
| 30. | 十四座行計外加費    | 97.47  |

27. 30" 單元一隻 2 90.00

十一月

|     |                   |       |
|-----|-------------------|-------|
| 11. | 零用                |       |
| 22. | 27元 27            |       |
| *   | 烟                 |       |
|     | 大                 |       |
| 29. | 17元 07 22 = 52.41 | 32.41 |

|         |        |
|---------|--------|
| 30.3.50 | 12-14. |
| 391.00  | 25-10. |
| 90.00   | 29.    |
| 74.99   | 27.    |
| 67.52   | 20.    |

|             |       |
|-------------|-------|
| 大23.1) 拾 费  | 32.41 |
| " "         | 35.11 |
| 印车票 1.2.2   | 15.00 |
| Whisky      | 3.50  |
| 小四本 纸 1.2.2 | 58.24 |
| 香烟 1.2.2    | 2.12  |
| 打车费         | 1.00  |

|           |      |
|-----------|------|
| 1. 行李及食費  | 1.80 |
| " 酒 1.2.2 | 2.60 |
| 4. 社会参观食費 | 4.10 |

2/12

60 2 20. -  
90 2 50. - 5. -

十一月

|     |                       |  |
|-----|-----------------------|--|
| 11. | 零用                    |  |
| 22. | 27元 27                |  |
| *   | 烟酒                    |  |
|     | 大 3                   |  |
| 29. | 17元 27 27 = 52元 32.41 |  |

|    |           |  |
|----|-----------|--|
| 1. | 行 旅 食 费   |  |
| "  | 邮 费 二     |  |
| 4. | 社 会 生 活 费 |  |

|         |  |
|---------|--|
| 30.3.50 |  |
| 391.00  |  |
| 90.00   |  |
| 74.99   |  |
| 67.52   |  |

|      |  |
|------|--|
| 1.80 |  |
| 2.60 |  |
| 4.10 |  |

|        |               |  |
|--------|---------------|--|
| 12-14. | 大 22.31 捐 费   |  |
| 25-30. | " "           |  |
| 28.    | 印 材 上 市 费 一 元 |  |
| 29.    | Whisky        |  |
| 30.    | 小 国 购 买 费 木 X |  |
| "      | 产 生 金         |  |
| "      | *2毛 3         |  |

十一月

|       |  |
|-------|--|
| 32.41 |  |
| 35.11 |  |
| 15.00 |  |
| 3.50  |  |
| 58.24 |  |
| 2.12  |  |
| 1.00  |  |

大 由、海 通 购 买 支 付 5.90

+11月 - +1月

支 久 一 郎 病 气 费 用

|       |  |       |
|-------|--|-------|
| 10/4- | 支 久 一 郎 病 气 费 用 1,200                          |       |
| 10/10 | 病 院 4 月 - 心 付 $\frac{母 2.00}{= 1.50}$          | 7.00  |
| "     | 病 院 住 所 申 付 $= 人$                              | 1.00  |
| 10/15 | 病 院 下 里 宿 心 付                                  | .50   |
| 10/14 | 病 院 送 一 回 食 申 付                                | 5.00  |
| 10/12 | + 月 4 日 = 人 分 会 费 申 付                          | .40   |
| "     | + 月 3 日 - + 10 = 人 分 = $\frac{母 2.00}{= 1.50}$ | 4.00  |
| 10/28 | + 月 10 - + 11 .. .. + 10 分                     | 70.00 |
| 10/24 | + 月 2 - 1 - 10 - 21 - 10 .. + 10 分             | 77.00 |
| "     | 旅 附 费  | 2.00  |
| 10/31 | + 月 3 日 - 2 + 10 = + 10 分 病 院 94.25            |       |

|       |                            |       |
|-------|----------------------------|-------|
| 11/5  | 支 久 一 郎 病 院 申 付            | 5.20  |
| 11/6  | " 车 札                      | 16.80 |
| "     | " 驾 札                      | 70.00 |
| 11/5  | 的 也 有 院 病 院 申 付 1,200      | 4.50  |
| 11/7  | 病 院 牛 仔 申 付 会 费 申 付        | 1.50  |
| 11/9  | + 月 10 - 11 - 12 月 2 月 申 付 | 63.00 |
| "     | 病 院 1 月 2 月 申 付 心 付        | 2.00  |
| "     | 大 月 2 月 申 付 心 付            | 1.00  |
| "     | 病 院 1 月 2 月 申 付 心 付        | 1.90  |
| 11/30 | 支 久 一 郎 病 院 申 付            | 29.25 |
| 12/10 | 支 久 一 郎 病 院 申 付            | 1.75  |
| "     | 申 付                        | 5.00  |
| 12/30 | 支 久 一 郎 病 院 申 付            | 20.00 |
| 1/1/2 | 支 久 一 郎 病 院 申 付            | 8.55  |
| "     | 申 付                        | 2.70  |
| 12/26 | 支 久 一 郎 病 院 申 付            | 6.40  |

+11 - +11

11月 - 11月  
病氣費用

|       |                                      |  |
|-------|--------------------------------------|--|
| 10/4- | 11月 - 病氣費用 (費11月) 11月 + 11月          |  |
| 10/10 | 看護費 - 1人 (1人 = 1人) 2.00 1人 5.00 7.00 |  |
| "     | 病入室掛號費 1人 1.00                       |  |
| 10/15 | 病院下床費 1人 1.50                        |  |
| 10/14 | 病院送回集散代 5.00                         |  |
| 10/12 | 1月四日 = 人分食費 1人 .40                   |  |
| "     | 1月三十日 - 1月 = 人分 = 1月 42.00           |  |
| 10/28 | 1月十一日 - 1月 .. .. 1月 70.00            |  |
| 10/24 | 1月 = 1月 - 2月 - 1月 .. 1月 77.00        |  |
| "     | 旅費 2.00                              |  |
| 10/31 | 1月三十日 - 2月 - 1月 = 1月 1月 94.25        |  |

|       |                            |       |
|-------|----------------------------|-------|
| 11/5  | 立 + 病大 - 2人 3人 + 1人        | 5.20  |
| 11/6  | " 車札                       | 16.80 |
| "     | " 電札                       | 70.00 |
| 11/5  | 的士酒後看護費 1人 1.50            | 4.50  |
| 11/7  | 看護費 中午飯 - 1人 1.50          | 1.50  |
| 11/9  | 1月 - 10 - 11月 入院費 63.00    | 63.00 |
| "     | 看護費 - 1月 - 1人 1人 2.00      | 2.00  |
| "     | 立 + 病大 - 2人 1人 1.00        | 1.00  |
| "     | 看護費 布圍代 1.90               | 1.90  |
| "     | 1月 - 10 - 11月 看護費 29.25    | 29.25 |
| "     | 看護費 中午飯 - 集散代 1人 1.75      | 1.75  |
| "     | " .. .. 札 (及抬箱) 5.00       | 5.00  |
| 12/30 | 看護費 医師 - 集散代 (立 + 病大 - 1人) | 20.00 |
| 12/22 | 札 4分                       | 8.50  |
| "     | 札 4分                       | 2.70  |
| 12/26 | 立 4分                       | 6.40  |

十一月

|        |                  |                          |
|--------|------------------|--------------------------|
| 12.    | 新元酒の税費           | 34.61                    |
| 20.    | 新元酒              | 391.00                   |
| 26.    | 新元酒の税費           | 32.41                    |
| "      | 新元酒              | 90.00                    |
|        | 大年               | 74.99                    |
| ( 5. ) |                  | 第一年 の 保険代 事務手数料 500.00 ] |
| 1.     | 大年下酒屋の会員費        | 6.00                     |
| "      | Whisky           | 4.50                     |
| 2.     | 新元酒              | 1.30                     |
| 3.     | 小林丸一(大年)         | 5.00                     |
| 5.     | 第一年 の 保険代 事務手数料  | 40.00                    |
| "      | 四中会の新元一時賃貸料      | 6.15                     |
| "      | 前田善右衛門、五郎、五助の賃貸料 | 4.50                     |
| "      | 横野百味(新元酒)        | 4.60                     |
| "      | 横野百味(新元酒)        | 4.00                     |
| 6.     | 江東枝太の賃貸料         | 11.20                    |
| 7.     | 新元税              | 4.00                     |
| "      | 四野善次郎の賃貸料        | 10.00                    |
| "      | 牛井善次郎の賃貸料        | 5.00                     |
| "      | 善次郎の賃貸料          | 30.00                    |

十一月

|        |                     |       |
|--------|---------------------|-------|
| 8.     | 社会保険料               | 2.00  |
| 10.    | 新元酒の税費              | 2.60  |
| "      | Whisky (大年)         | 3.50  |
| 12.    | 小林丸一の税費             | 1.00  |
| 10-14  | 大年酒の税費              | 37.07 |
| 16.    | 新元税                 | 81.35 |
| "      | 水道料                 | 6.60  |
| "      | サカタニ酒               | 2.00  |
| 17.    | 車 27-1号 + 支 + 10厘税費 | 13.41 |
| 11.    | 新元酒の税費              | 5.50  |
| 18.    | Whisky (小林)         | 3.50  |
| 19.    | 27-1号税              | 1.90  |
| 20.    | 城尾新一礼               | 3.00  |
| 21.    | Whisky (大年)         | 3.50  |
| 22.    | 手紙料、物置台等            | 5.02  |
| 26.    | 新元酒の賃貸料             | 2.00  |
| "      | 伊藤新一の賃貸料            | 15.00 |
| 20-27. | 小田至大改の税費            | 30.87 |
| 28.    | 車                   | 30.00 |
| 29.    | 高木四郎の税費             | 1.50  |
| "      | 高木史郎賃貸税             | 5.00  |
| 28.    | 十四至竹橋の車             | 2.14  |

十一月

|     |            |       |
|-----|------------|-------|
| 30. | 四中大印支へ青專   | 5.00  |
| "   | 行支空函袋へ以    | .50   |
| "   | +林丸一       | 5.00  |
| "   | 母上へ 155.-  |       |
| "   | 大政朝日叶      | 1.20  |
| "   | 小切原未付費 未対共 | 95.95 |

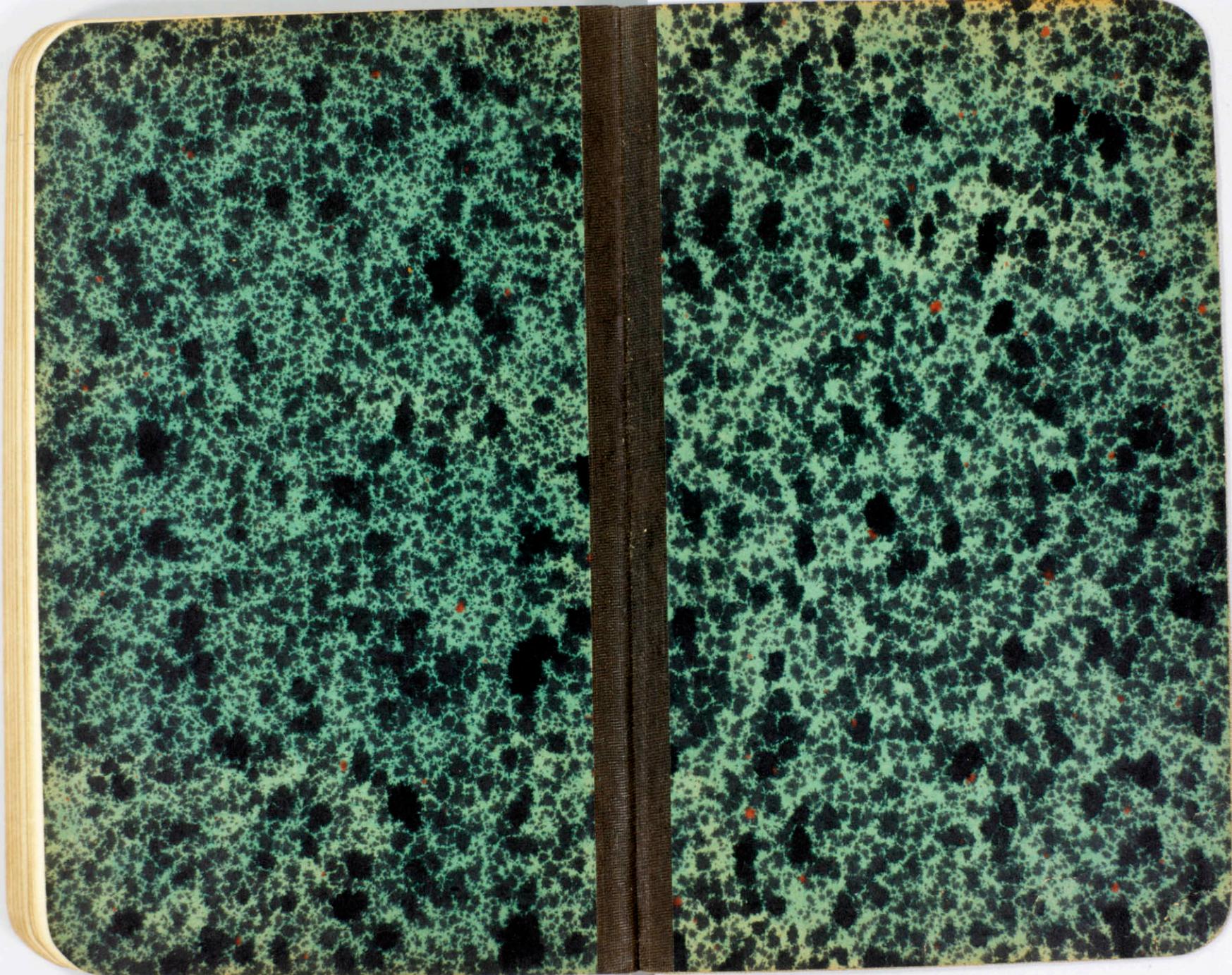
十二月

|       |                 |        |
|-------|-----------------|--------|
| 10.   | 行支所の旅費          | 34.61  |
| 20.   | 行支所の旅費<br>トモ子吉  | 399.00 |
| "     | "               | 200.00 |
| 23    | " 旅費            | 34.61  |
| 26    | 大政              | 74.99  |
| "     | 经理 手吉 特別手荷 90.- | 180.00 |
| 27    | 保健生生活会手荷        | 200.00 |
| "     | 中央设计委員会手荷       | 500.00 |
| 11/16 | 行支所の旅費          | 34.61  |
| 1.    | Whisky (東京)     | 5.00   |
| 2.    | 集会用自動車回数券       | 1.00   |
| 4.    | Whisky (大政) 及江生 | 5.80   |
| 5.    | 紙袋 麦瓦茶碗         | 2.40   |
| "     | 行支所食費           | 3.40   |
| 7.    | 山岸道地支所回数券       | 12.00  |
| "     | 電車回数券 (大政)      | 1.00   |
| 12.   | 高井氏へ旅支票代償       | 15.00  |
| 3-12  | 大政行旅費           | 33.07  |
| 13.   | Whisky (東京)     | 5.00   |
| "     | Prin 老記念賞金一斗叶   | 20.00  |
| "     | 设计委員会費          | 1.00   |
| 23    | 行支所料代           | 1.20   |

十一月

十一月

|       |  |       |       |                      |        |
|-------|--|-------|-------|----------------------|--------|
| 20.   | Whisky (大政)  | 4.50  | 30.   | 支上一<br>支一            | 220.00 |
| 22.   | 電車四枚券(大政)  | 1.00  | "     |                      | 50.00  |
| 23.   | 伊東市販礼  | 15.00 | "     | 政治印鑑及支票合             | 20.00  |
| "     | 丹波川大集一可善   | 5.00  | "     | 久善一書時代支拂             | 12.56  |
| "     | 支物   | 1.90  | "     | 有斐閣一書時代支拂            | 25.56  |
| 18.   | 社會政黨今大政與氣費   | 3.00  | "     | 差旨院寄附                | 20.00  |
| 19.   | 割入支車運世地卜   | 20.00 | "     | 手土氣費                 | 2.00   |
| 22.   | 林業史、生意稅物   | 1.98  | "     | 牛生年 (9.74-8.26)      | 1.48   |
| 23.   | 伊東市販支 7722 及贈物   | .75   | "     | 7.2-3.7 7.75<br>2.12 | 9.87   |
| "     | 金匱石研盤支一贈物  | 2.35  | "     | 美氣筆                  | 12.30  |
| "     | 精厚禮一尤一贈物   | 2.70  | "     | 江江帳(用) note book     | 1.56   |
| "     | 原田馬平附上一書送  | 3.05  | "     | 先善ツキン下               | 4.50   |
| "     | 川電一中致萬卜  | 10.00 | "     | Whisky (+四亞)         | 4.80   |
| 24.   | 伊東市販礼  | 15.00 | "     | 支車小切原向二十二復次車貸        | 4.42   |
| 19-25 | 割入通行大政金敷川費 気中代   | 44.83 | 31.   | 大氣味                  | 4.50   |
| 24.   | 割入十選卜  | 5.00  | "     | 苔革本款及革筆              | 1.80   |
| 26.   | 大字塔内販礼   | 2.00  | "     | 方錦の毛笔                | 2.80   |
| "     | 水善一心付  | 1.00  | "     | 小切車貸 35 内也地計費諸支拂     | 53.29  |
| "     | 大林史、神物   | 5.00  | 27-29 | 大刀口斧車貸               | 33.07  |
| "     | 成田元一支持 <small>{ 費用取付 12.00<br/>    支持費用合 = 13.00 }</small> | 25.00 |       |                      |        |
| "     | 成田元一新規善主万次印刷支  | 10.00 |       |                      |        |
| "     | 半夏土壠增工收付   | 1.50  |       |                      |        |







きかは便郵

京野物  
高野老  
3月  
附

样 附寄的清稿收尋頃已抄齊也  
六時半過到一處小屋前而有許多沙鷗  
在水草中休息一小時半後又去附近之處  
船上之物已裝上船，將一隻船用

No 32

(No 32)

8-10  
No 30  
12-15

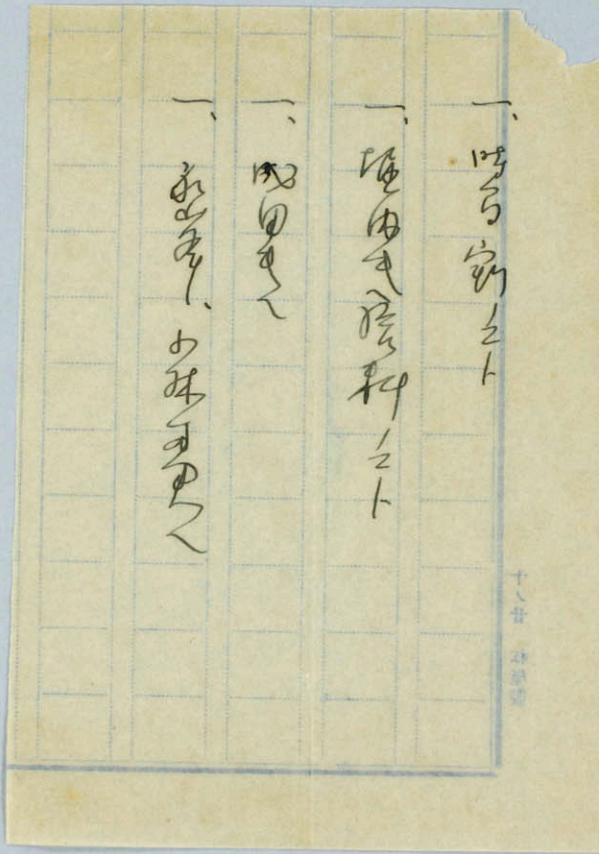
No 32 封皮  
叶經商政廳公文時有外文及中國文

道臣所送者亦未在於紙背（是大抵多是外文）

右  
手書

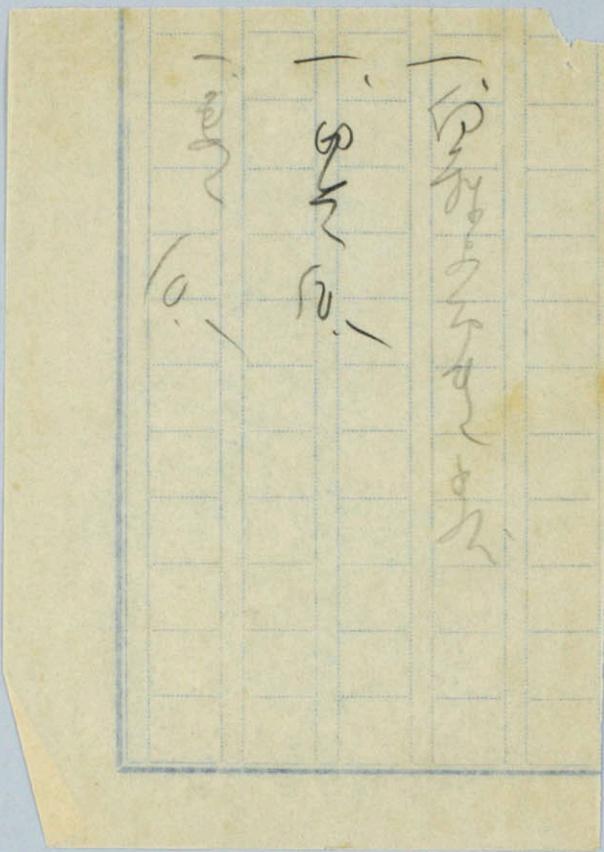
車票事另大字錄存印

四字



一、四角形木块 1/2  
一、三角形木块 1/2  
一、正方形木块 1/2  
一、大圆形木块 1/2  
一、小圆形木块 1/2  
一、长圆木块 1/2

十八日  
甘源明  
中大



No.

。筆年萬。キガハ工。糸縫。針糸。こばた。紙。具房文。誌雜

御買上明細書

2080

研究所問題社原大

四七八四町人俗寺王天區青浦市医大  
番一二五電(南)屋

|                |      |            |
|----------------|------|------------|
| 甲上             |      | 11/9       |
| 箱代 1.80<br>.60 | 2.40 | 12/2 10.   |
| 送度 3.40<br>.15 | 3.90 | 12/4 20.-  |
| 房(事務所用)代、      |      | 12/19 15.- |
| 草花代            | 5.80 | 保育 7.24    |
| 大型床代           |      | 2.12       |
| 保育             | 2.12 | 洗濯代 2.00   |
| "              | 7.75 | 米代         |
| 蚊子             | 2.00 |            |
| 肥前吸氣           | .60  |            |

研究所問題會社原大

四七八四町入倫寺王天區前市置大

番一五一一二南(長)電

大正九年十月

一  
年  
十一月  
廿三日

研究所問題會社原大

四七八四町八丁目天王寺南市大阪

番一五一二南(長)電

11/0

手稿

一、手稿 八九二 付 手稿 (1.5.26) 等 等 1680, 付 1000

一、手稿 八九二 付 手稿 1000

一、手稿 八九二 付 手稿 1000  
手稿 八九二 付 手稿 1000

一、手稿 八九二 付 手稿 1000  
手稿 八九二 付 手稿 1000

一、手稿 八九二 付 手稿 1000

一、手稿 八九二 付 手稿 1000

一、手稿 八九二 付 手稿 1000

大原社會問題研究研究所

大坂市區天王寺俗人町四七八

# 研究所問題會社原大

四七八四町人俗寺王天區南市區大

卷一五一二南(縣)電

| 1. | 升山之上 | 名<br>字 | 6/18<br>12/29 | 已<br>往 |
|----|------|--------|---------------|--------|
| 1. | 大高木屋 | 名<br>字 | 12/29<br>1/15 | 已<br>往 |
| 1. | 三井   | 名<br>字 | 1/15<br>1/26  | 已<br>往 |
| 1. | 立高木屋 | 名<br>字 | "             | "      |
| 1. | 伊藤   | 名<br>字 | "             | "      |
| 1. | 佐藤   | 名<br>字 | "             | "      |
| 1. | 今西   | 名<br>字 | "             | "      |
| 1. | 久保   | 名<br>字 | "             | "      |
| 1. | 吉田   | 名<br>字 | "             | "      |
| 1. | 中村   | 名<br>字 | "             | "      |
| 1. | 村上   | 名<br>字 | "             | "      |
| 1. | 村上   | 名<br>字 | "             | "      |
| 1. | 村上   | 名<br>字 | "             | "      |

研究所問題會社原大

四七八四町八丁目天藍南由阪大

番一五一二南(長)電

|    |          |    |             |           |             |  |
|----|----------|----|-------------|-----------|-------------|--|
|    |          |    |             |           |             |  |
| 1. | 小豆<br>豆沙 | 豆沙 | 1/2<br>豆沙   |           |             |  |
| 2. | 五味<br>五味 | 五味 | 1/6<br>五味   |           |             |  |
| 3. | 豆沙<br>豆沙 | 豆沙 | 1/6<br>豆沙   |           |             |  |
| 4. | 豆沙<br>豆沙 | 豆沙 | (1/2<br>豆沙) | 1/2<br>豆沙 | 1/60<br>豆沙  |  |
| 5. | 豆沙<br>豆沙 | 豆沙 | (1/2<br>豆沙) | 豆沙        | (1/2<br>豆沙) |  |
|    |          |    |             |           |             |  |

大原社問題研究研究所

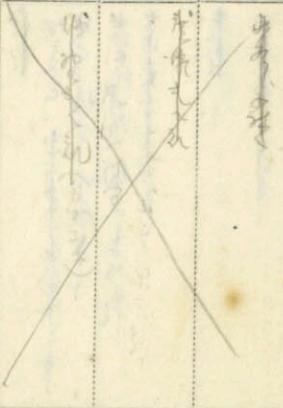
大坂市南區天王寺人俗町四七八番一二南(長)電

|         |      |      |      |
|---------|------|------|------|
| 箱代      | 1.80 |      |      |
|         | 1.80 | 2.60 |      |
| 包装费     |      | 3.90 |      |
|         |      |      | 1/4  |
| 炭(半精制)代 |      |      | 1/18 |
| 等差代     | 5.80 | 提成   | 7.24 |
| 摊销代     |      |      | 2.12 |
| 修理      | 2.12 | 修理费  | 2.00 |
|         | 7.75 | 差代   |      |
| 修理费     | 2.00 |      |      |
| 运输费     | 1.60 |      |      |

要 摘

月 十 月 九

日 二 ② 日 三 一 ④ 日 十 三 ⑥



28 - 2.02

4.50

2.21

19.87

3.86

2.24

✓ 26.11

32,32

## 要 摘

月 十 五

日 九 ④ 日 八 ⑤ 日 七 ⑥

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|  |  |  |

月 事 十

日 六 ⑥ 日 五 ⑦ 日 四 ⑧ 日 三 ⑨

|          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| 午後<br>中止 | 午後<br>中止 | 午後<br>中止 | 午後<br>中止 |
| 午後<br>中止 | 午後<br>中止 | 午後<br>中止 | 午後<br>中止 |

要 錄

| 要 摘                                       |      |      |                       |      |      |     |
|---|------|------|-----------------------|------|------|-----|
| 月 十 月                                     |      |      |                       |      |      |     |
| 日六十③                                      | 日五十② | 日四十① | 日三十⑩                  | 日二十⑨ | 日一十⑧ | 日十⑦ |
| 7<br>月<br>子<br>初<br>分<br>之<br>人<br>四<br>人 |      |      | 7<br>送<br>食<br>食<br>付 |      |      |     |
|   |      |      |                       |      |      |     |
|   |      |      |                       |      |      |     |
|   |      |      |                       |      |      |     |

12-14m 16° 12n<sup>2</sup>  
 4.50 4.42 4.42  
 2.41  
 4.50  
 2.70  
 32.41

要 錄

| 要 摘     |   | 月 二十   |        |        | 月 二十   |        |        | 祭 宵 神 |      |      |      |      |      |
|---------|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|------|------|------|------|------|
| 日三十二    | ㊱ | 日二十二   | ㊱      | 日一十二   | ㊱      | 日十二    | ㊱      | 日九十   | ㊱    | 日八十  | ㊱    | 日七十  | ㊱    |
| 花房の店の文庫 |   | 本の手交換会 | 本の手交換会 | 本の手交換会 | 本の手交換会 | 本の手交換会 | 本の手交換会 | 大通の祭  | 上野の祭 | 上野の祭 | 上野の祭 | 上野の祭 | 上野の祭 |

4.42

要

錄

## 要 摘

三十一日

| 日  | 十 | 月   | 二   |
|----|---|-----|-----|
| 十三 | 四 | 九十二 | 八十二 |
| 常  | 常 | 常   | 常   |
| 常  | 常 | 常   | 常   |

25.30  
3.00  
23.61  
6.50  
8.10  
33.11

## 要 摘

三十二日

| 日 | 七十二 | 六十二 | 五十二 | 四十二 |
|---|-----|-----|-----|-----|
| 七 | 六   | 五   | 四   |     |
| 常 | 常   | 常   | 常   | 常   |
| 常 | 常   | 常   | 常   | 常   |

要  
錄



| 日<br>十<br>九 | 日<br>九<br>八 | 日<br>八<br>七       | 日<br>七<br>四 |
|-------------|-------------|-------------------|-------------|
|             |             | 997<br>—<br>15.94 |             |

|       |      |       |   |
|-------|------|-------|---|
| 11    | 3.07 | 26.11 | 要 |
| 11.93 | —    | 8.50  |   |
|       |      | 34.61 | 錢 |

國勢院事務囑託江刺喜四郎

赤坂第一部監理課（電芝五七九七）  
丹後町九十六番地

大林山  
二五七  
日本  
大林山

倉敷医学圖書館主任 須口義久  
而銀介 宙上印

高田隣德

高野山石三郎先生

東洋の新潮へ解説飛  
山崎一雄

清

水

博

大阪市西區南堀江通三丁目六十一番屋敷

現住所  
東京市本郷区駒込5丁目  
三日暮地区  
学生外宿用  
寢、沙勿少一九二一年





野  
口  
廣  
信

天王寺警察署長  
大阪府警視  
山下文助

司法省統計主任

大審院檢事兼  
司法省參事官  
司法大臣祕書官

三 宅 高 時

5 12

7 1/2

36.7

8 1/2

37.2 — nach Thee

10 1/2

36.9

11 1/2

36.9

1.40

37.4 nach Thee

7 1/2

36.4

6 6

37.50 — 36.7

6 5. n — 36.2

7 12

3. 8. n — 36.5 —

6 1. n — 37.1 nach Thee

5. n — 36.5 —

8 12  
3. 8. n — 36.6

6 1. n — 36.4

12 n

有度归 ~ 10,-

内五 ~ 50

212

~~60~~ 20,-

~~50~~ 5,-

~~D 177 - 00~~

~~1/30 8.2 - 12.284 3.0~~

~~1/1 - 1/2 Wharf 4.60~~